

## 第2章 保健医療環境の現状

### 第1節 人口

#### 1 人口構造

##### (1) 総人口

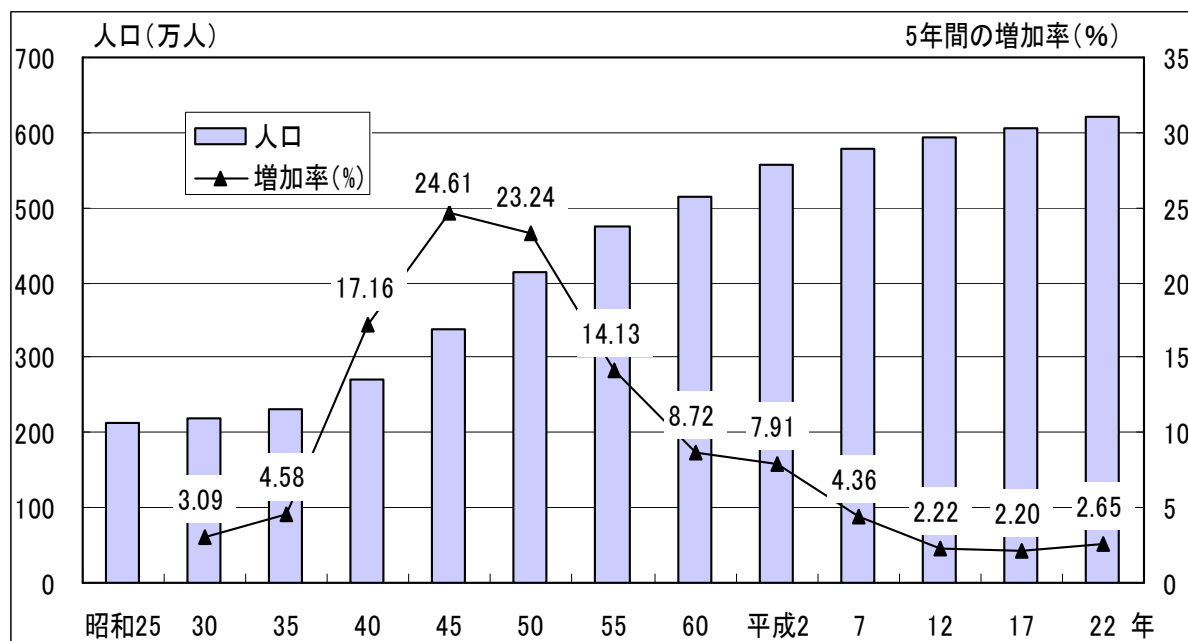
平成22年の国勢調査（速報集計）によると、本県の人口は6,217,119人となっており、全国第6位の人口規模となっています。

前回調査時（平成17年）よりも2.65%増加し、全国増加率0.23%を2.43ポイント<sup>(注)</sup>上回り、全国第3位の増加率となっています。

市郡別では、市部5,944,186人(構成比95.6%)、郡部272,933人(構成比4.4%)となっており、全国平均(市部90.7%、郡部9.3%)に比べると、市部人口の占める割合が高くなっています。

人口密度は、1km<sup>2</sup>当たり1,205.6人で全国の人口密度343.4人を大きく上回り、全国第6位となっています。

【 図表 1-2-1-1-1 人口及び人口増加率の推移 】



資料：国勢調査（総務省）

平成22年の人口は速報集計による

(注) 千葉県の増加率(2.6527%)と全国の増加率(0.2254%)の差分をとり、四捨五入しています。

## (2) 年齢階級別人口

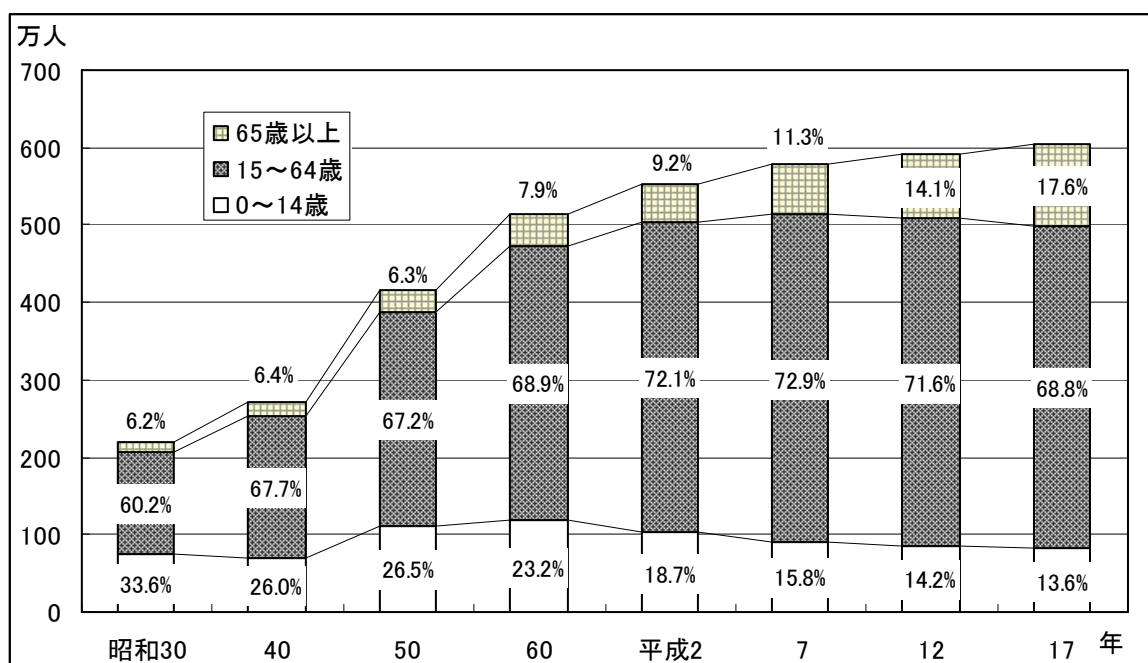
総務省による平成17年国勢調査をもとに本県の人口を年齢3区分にしてみると、年少人口（0～14歳）は819千人、生産年齢人口（15～64歳）は4,155千人、老年人口（65歳以上）は1,060千人で、総人口に占める割合は、それぞれ13.6%、68.8%、17.6%となっています。

全国の年齢3区分割合（13.8%、66.1%、20.2%）と比べると、生産年齢人口の割合が上回り、年少人口及び老年人口の割合が下回っています。

国勢調査により年齢3区分別割合の推移をみると、年少人口は昭和50年以降減少しており、生産年齢人口は昭和50年以降上昇していましたが、平成7年をピークに減少しています。

これに対し、老年人口は昭和50年以降一貫して上昇を続けており、平成17年には年少人口を上回りました。

【 図表 1-2-1-1-2 年齢3区分別人口の割合の推移 】



※ 年齢3区分別人口については、年齢不詳を除き、構成比は人口総数に対する割合

資料：国勢調査（総務省）

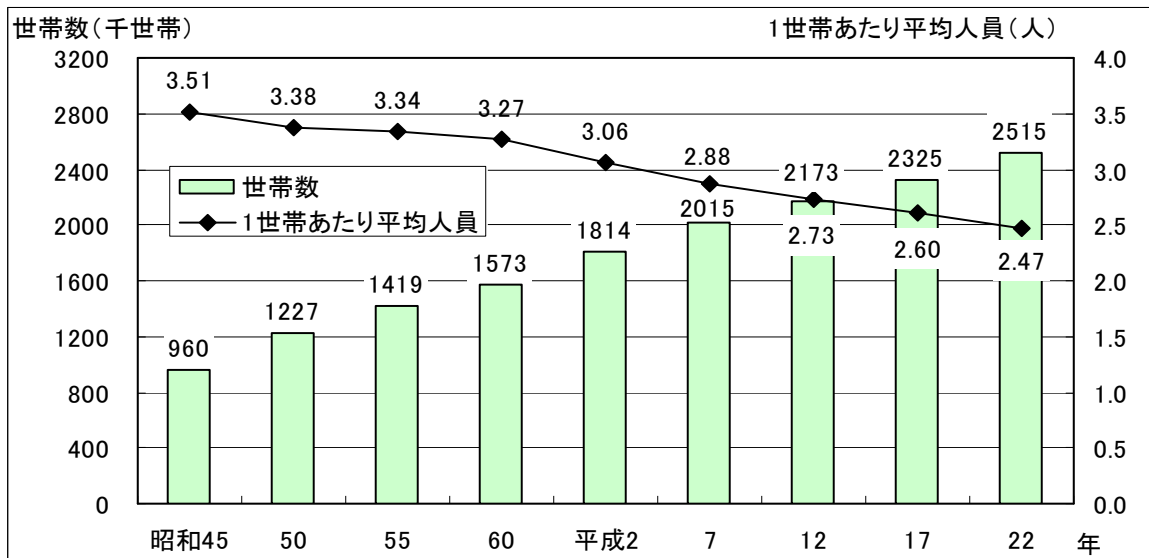
年齢不詳分を除く。

### (3) 世帯構成

平成22年の国勢調査（速報集計）によると、本県における総世帯数は、2,515,220世帯、1世帯当たりの人員は2.47人であり、全国平均2.46人に比べ0.01人多いものの、平成17年の本県の1世帯当たりの人員2.60人からは0.13人減少しています。

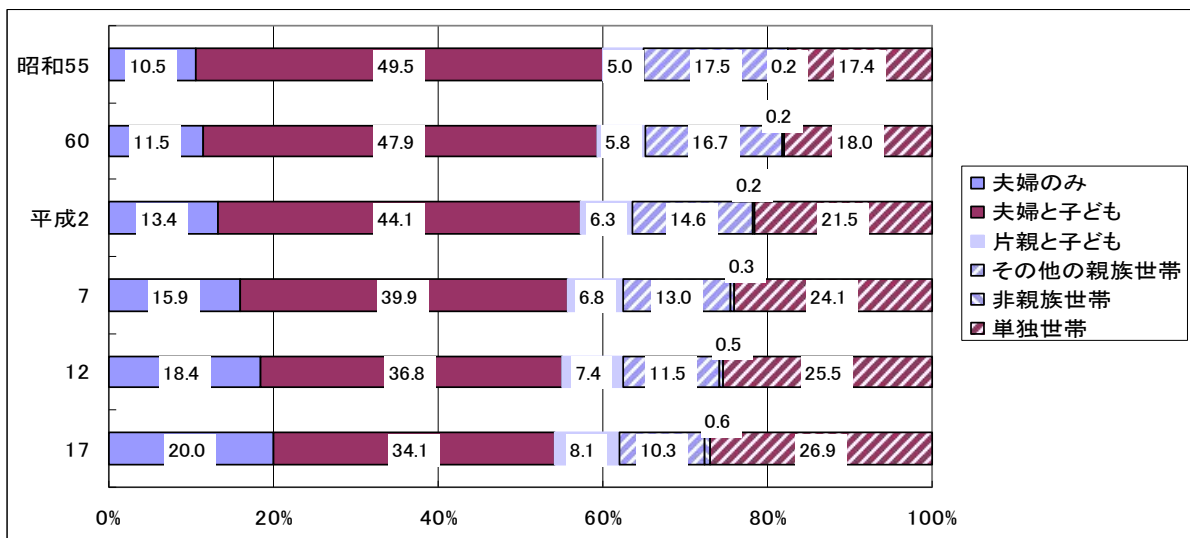
また、国勢調査により家族類型別の推移をみると、都市化の進展や核家族化等により「夫婦のみ」、「片親と子ども」、「非親族世帯」、「単独世帯」の割合が年々上昇しています。

【 図表 1-2-1-1-3 世帯数と1世帯あたり平均人員の推移 】



資料：国勢調査（総務省）  
平成22年の人口は速報集計による

【 図表 1-2-1-1-4 家族類型別一般世帯割合の推移 】



資料：年国勢調査（総務省）

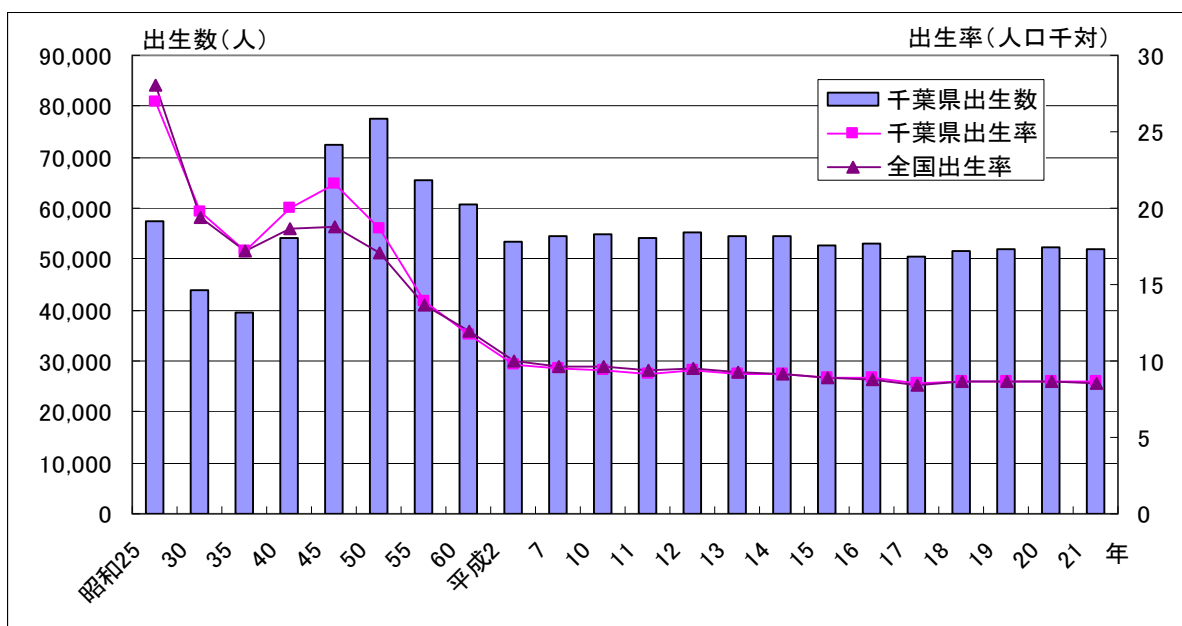
## 2 人口動態

### (1) 出生

#### ① 出生数・出生率

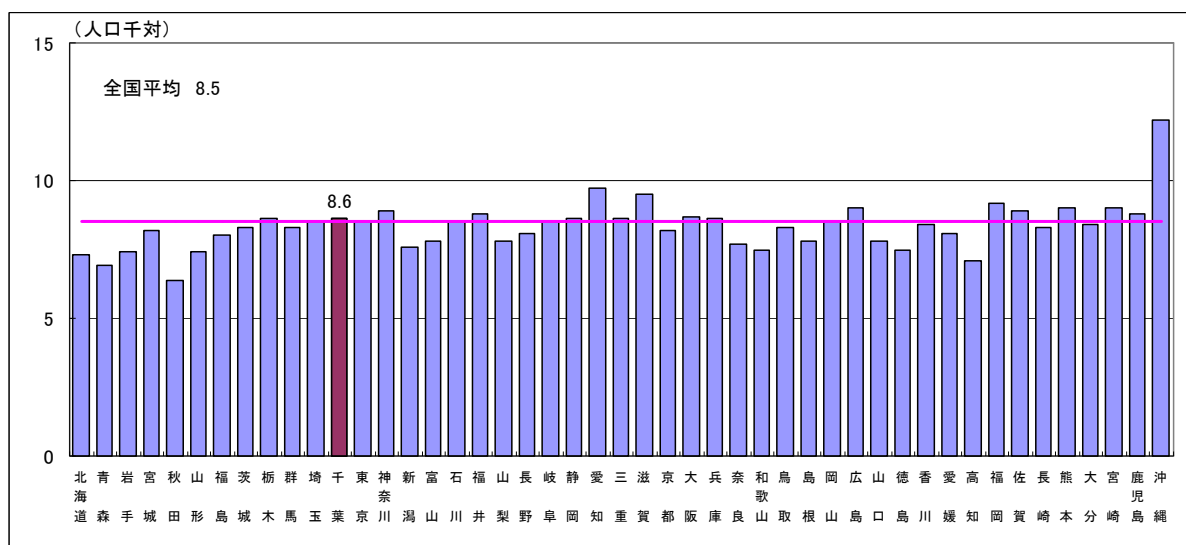
本県の平成21年の出生数は51,839人で、平成20年(52,306人)より467人減少しています。出生率(人口千対)は、第二次ベビーブーム期以降低下が続き、平成7年からはほぼ横ばいで推移しています。平成21年は8.6で全国平均の8.5に対し0.1ポイント高く、全国第13位となっています。

【 図表 1-2-1-2-1 出生数・出生率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-2 都道府県別出生率 】



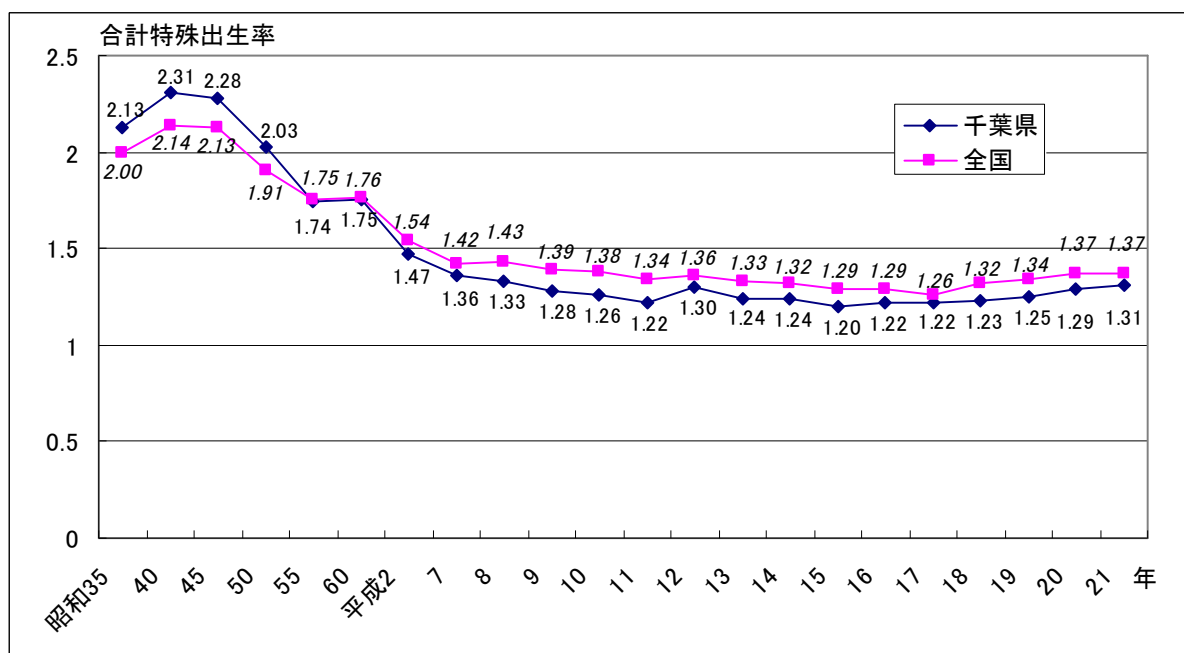
資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

## ② 合計特殊出生率

本県の合計特殊出生率\*は、昭和51年に2.0を下回ってから一時的な上昇はあるものの、低下を続けています。平成21年は1.31となり、全国の1.37に対し0.06ポイント低く、全国第35位となっています。

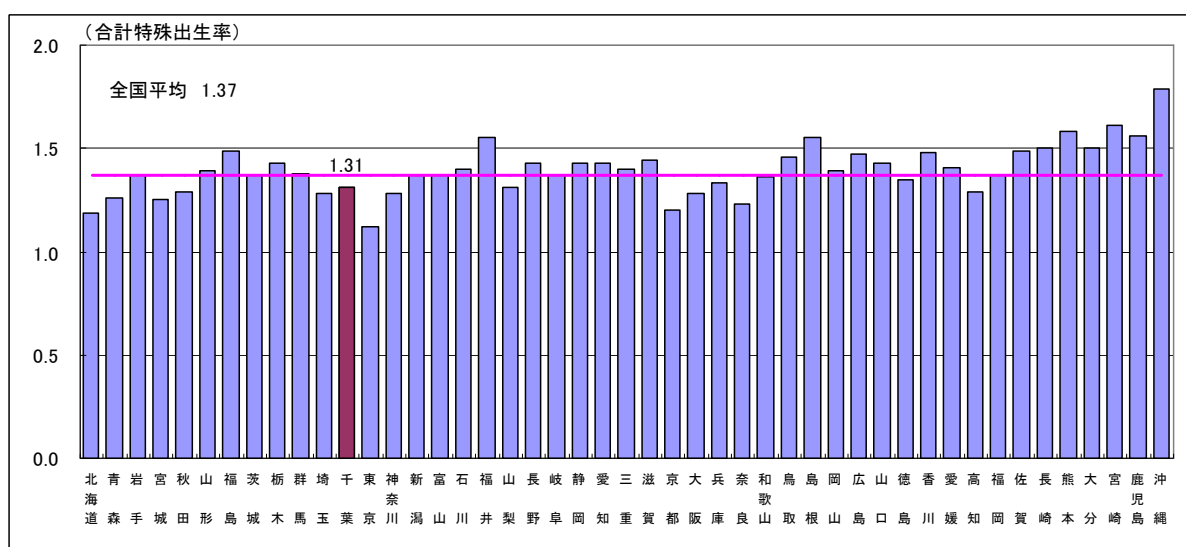
人口の減少を招かないために必要とされる水準2.08を大幅に下回っており、出生率の減少と併せて、少子社会の到来が社会問題となっています。

【 図表 1-2-1-2-3 合計特殊出生率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-4 都道府県別合計特殊出生率 】



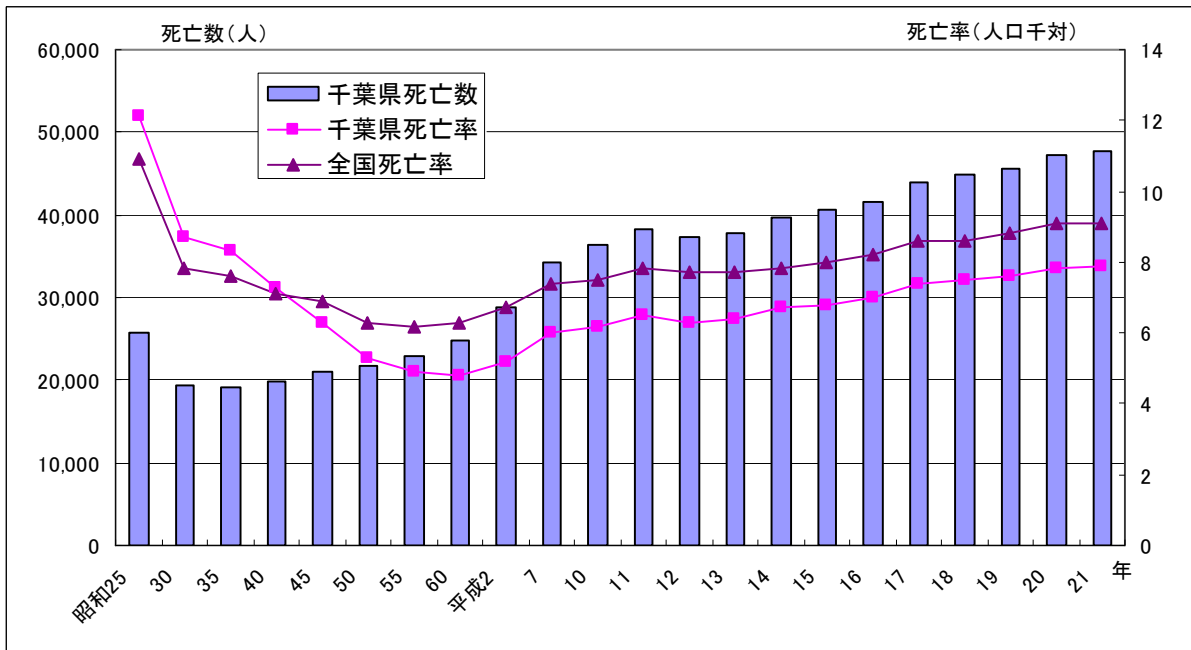
資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

(2) 死亡

① 死亡数・死亡率

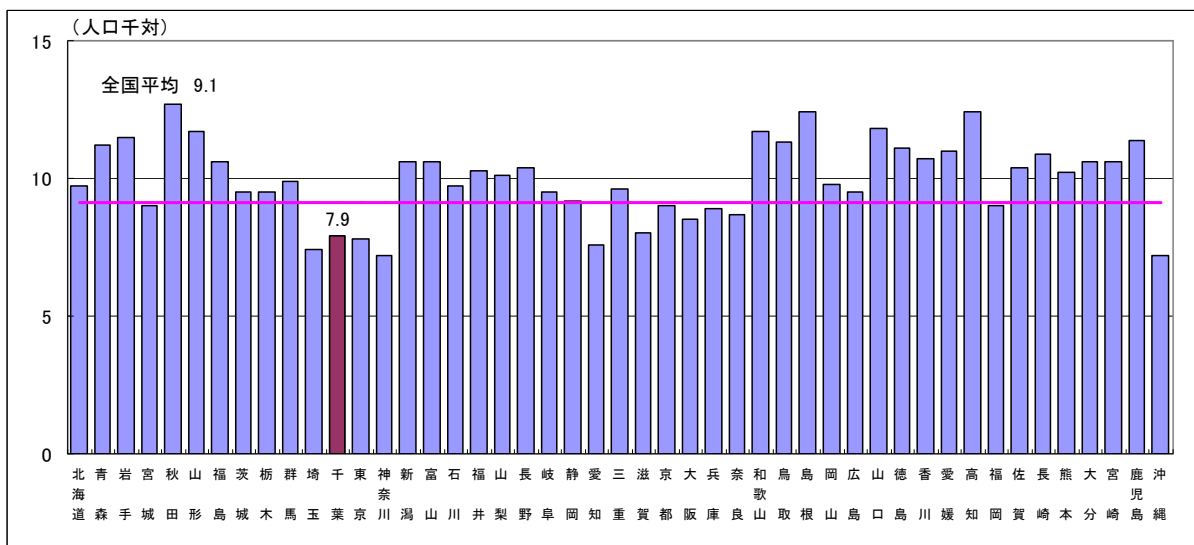
本県の死亡数は長期的には増加傾向で推移しています。平成21年は47,819人で平成20年(47,149人)より670人増加しています。死亡率(人口千対)では、7.9で全国平均の9.1に対し1.2ポイント低く、全国第42位となっています。

【 図表 1-2-1-2-5 死亡数と死亡率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-6 都道府県別死亡率 】



資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

## ② 死因順位

本県の平成21年の死因別死亡数をみると、死因順位の上位10死因は全国とほぼ同じ順位であり、第1位 悪性新生物（死亡総数に占める割合30.7%）、第2位 心疾患（同17.4%）、第3位 脳血管疾患（同10.5%）の上位3死因で、死亡総数の58.7%（全国56.7%）を占めています。

また、上位3死因の死亡率（人口10万対）は、悪性新生物が242.6（全国273.5）、心疾患が137.7（全国143.7）、脳血管疾患が83.1（全国97.2）と、いずれも全国平均より低くなっています。

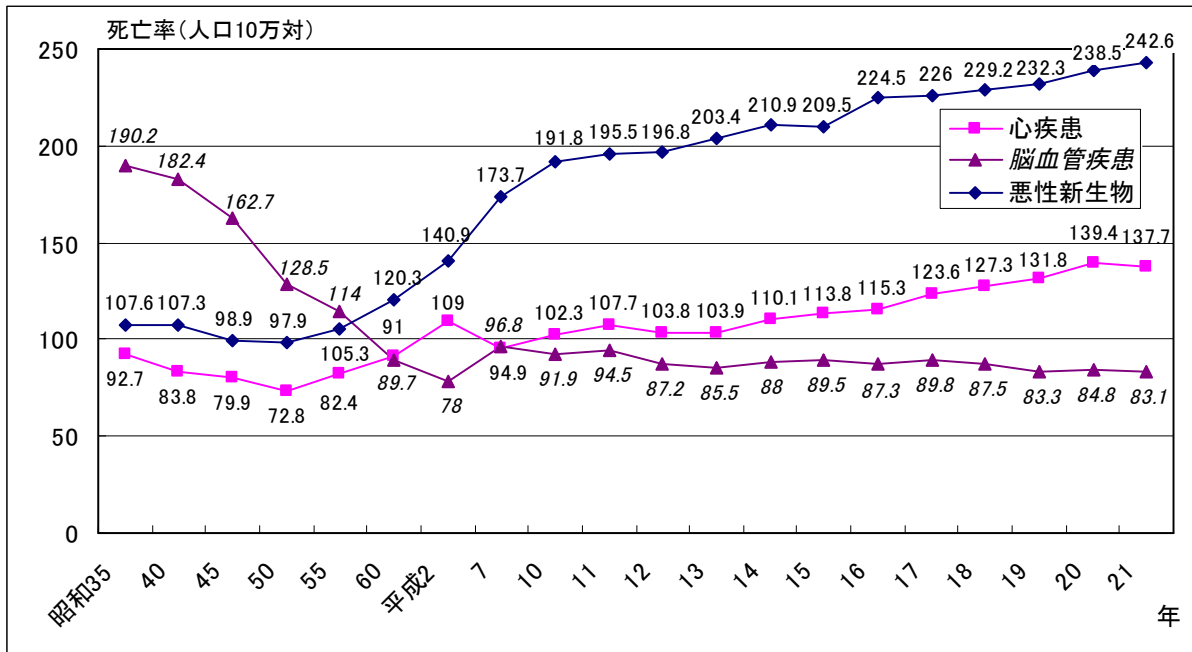
【 図表 1-2-1-2-7 死因別死亡数と死亡総数に占める割合（上位10位） 】

順位	全 国			千 葉 県		
	死 因	死亡数	構成割合	死 因	死亡数	構成割合
1	悪性新生物	344,105	30.1	悪性新生物	14,699	30.7
2	心 疾 患	180,745	15.8	心 疾 患	8,344	17.4
3	脳血管疾患	122,350	10.7	脳血管疾患	5,034	10.5
4	肺 炎	112,004	9.8	肺 炎	4,595	9.6
5	老 衰	38,670	3.4	老 衰	1,664	3.5
6	不慮の事故	37,756	3.3	不慮の事故	1,451	3.0
7	自 殺	30,707	2.7	自 殺	1,326	2.8
8	腎 不 全	22,743	2.0	腎 不 全	812	1.7
9	肝 疾 患	15,969	1.4	肝 疾 患	668	1.4
10	慢性閉塞性肺疾患	15,359	1.3	糖 尿 病	632	1.3
死亡 総数		1,141,865			47,819	

順位	千 葉 県(男)			千 葉 県(女)		
	死 因	死亡数	構成割合	死 因	死亡数	構成割合
1	悪性新生物	9,060	34.2	悪性新生物	5,639	26.5
2	心 疾 患	4,325	16.3	心 疾 患	4,019	18.9
3	脳血管疾患	2,519	9.5	脳血管疾患	2,515	11.8
4	肺 炎	2,477	9.3	肺 炎	2,118	9.9
5	自 殺	958	3.6	老 衰	1,258	5.9
6	不慮の事故	917	3.5	不慮の事故	534	2.5
7	腎 不 全	438	1.7	腎 不 全	374	1.8
8	慢性閉塞性肺疾患	437	1.6	自 殺	368	1.7
9	肝 疾 患	437	1.6	糖 尿 病	275	1.3
10	老 衰	406	1.5	大動脈瘤及び解離	259	1.2
死亡 総数		26,517			21,302	

資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-8 三大死因死亡率の推移（千葉県） 】

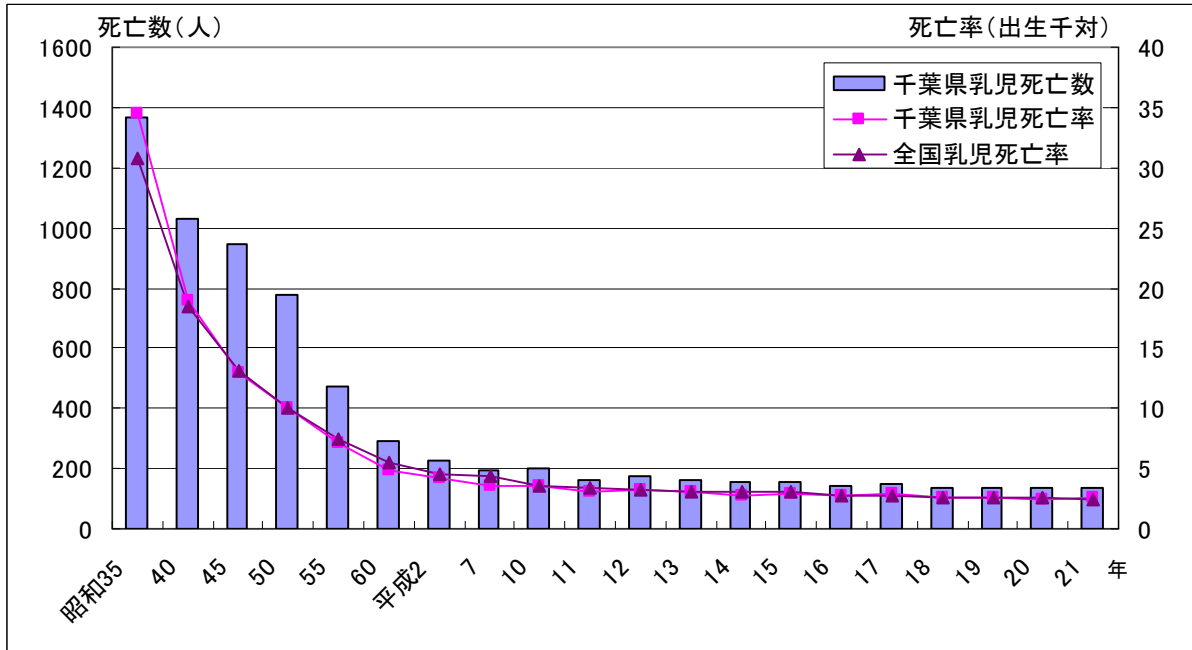


資料：人口動態調査（厚生労働省）

### ③ 乳児死亡率

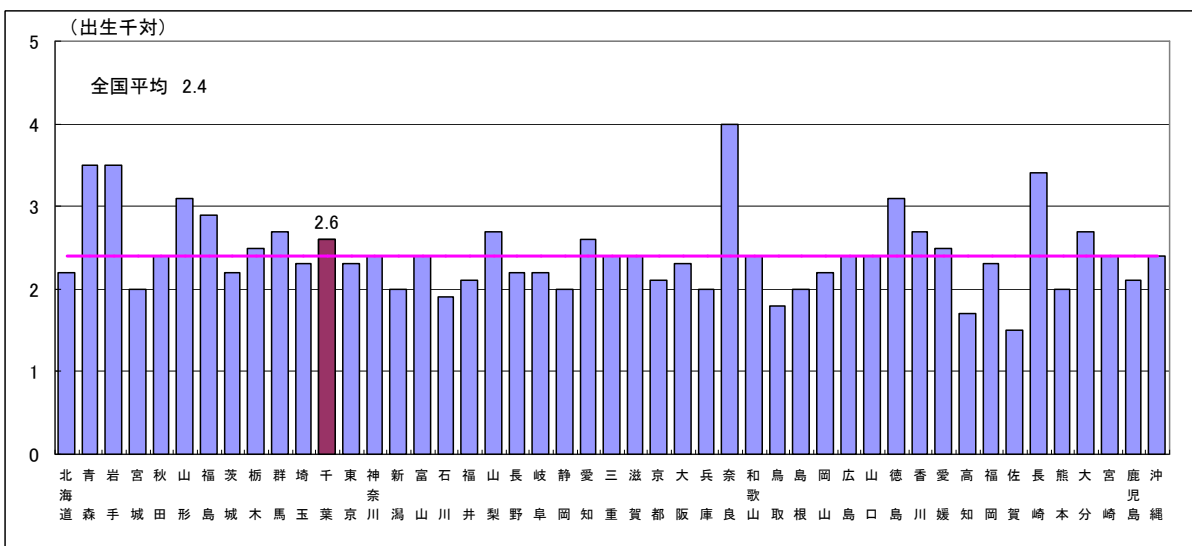
本県の乳児死亡率\*（出生千対）は、おおむね全国平均と同様に減少傾向にあります。平成21年の乳児死亡数は137人で平成20年（133人）より4人増加しており、乳児死亡率は2.6で全国平均の2.4に対し0.2ポイント高く、全国第14位となっています。

【 図表 1-2-1-2-9 乳児死亡数と乳児死亡率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-10 都道府県別乳児死亡率 】

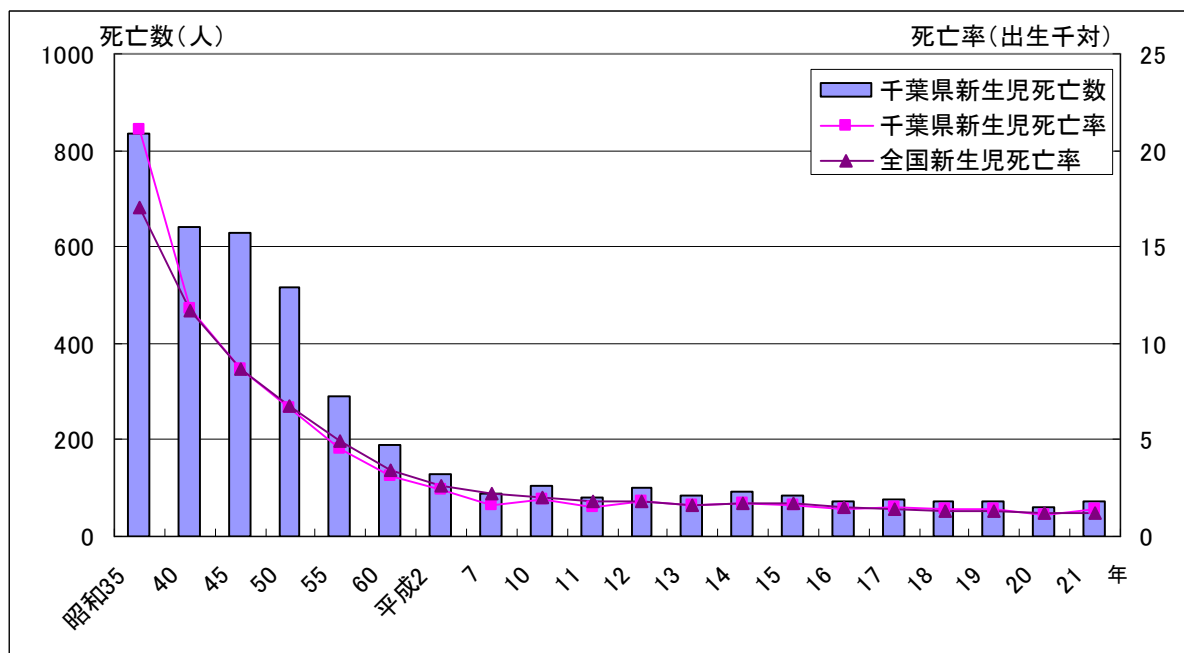


資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

#### ④ 新生児死亡率

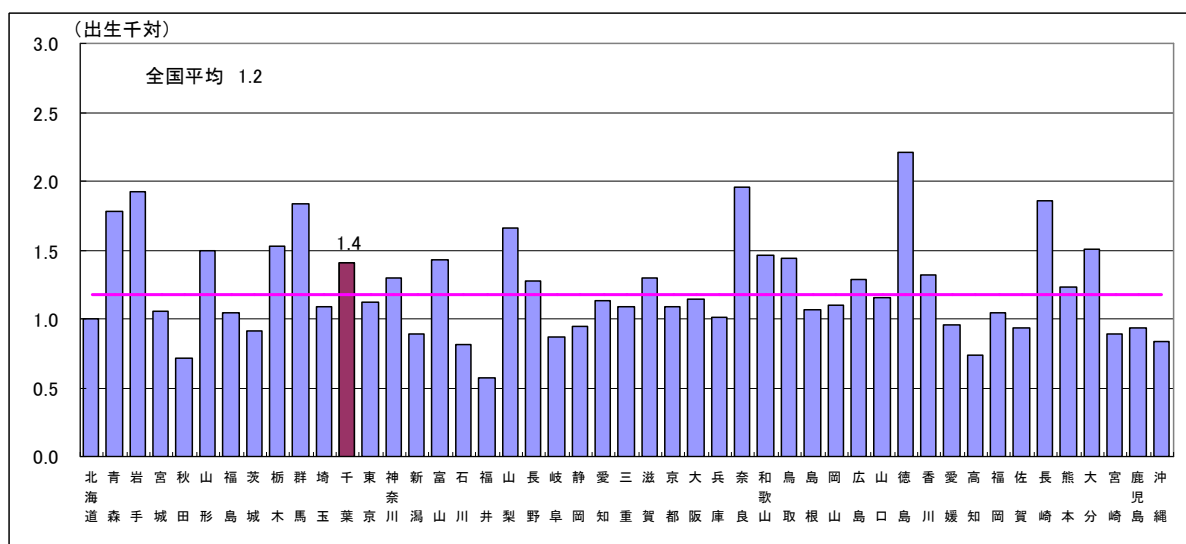
本県の新生児死亡率\*（出生千対）は、おおむね全国平均と同様に減少傾向にあります。平成21年の新生児\*死亡数は73人で平成20年（59人）より14人増加し、新生児死亡率は1.4で全国平均の1.2に対し0.2ポイント高く、全国第14位となっています。

【 図表 1-2-1-2-11 新生児死亡数と新生児死亡率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-12 都道府県別新生児死亡率 】

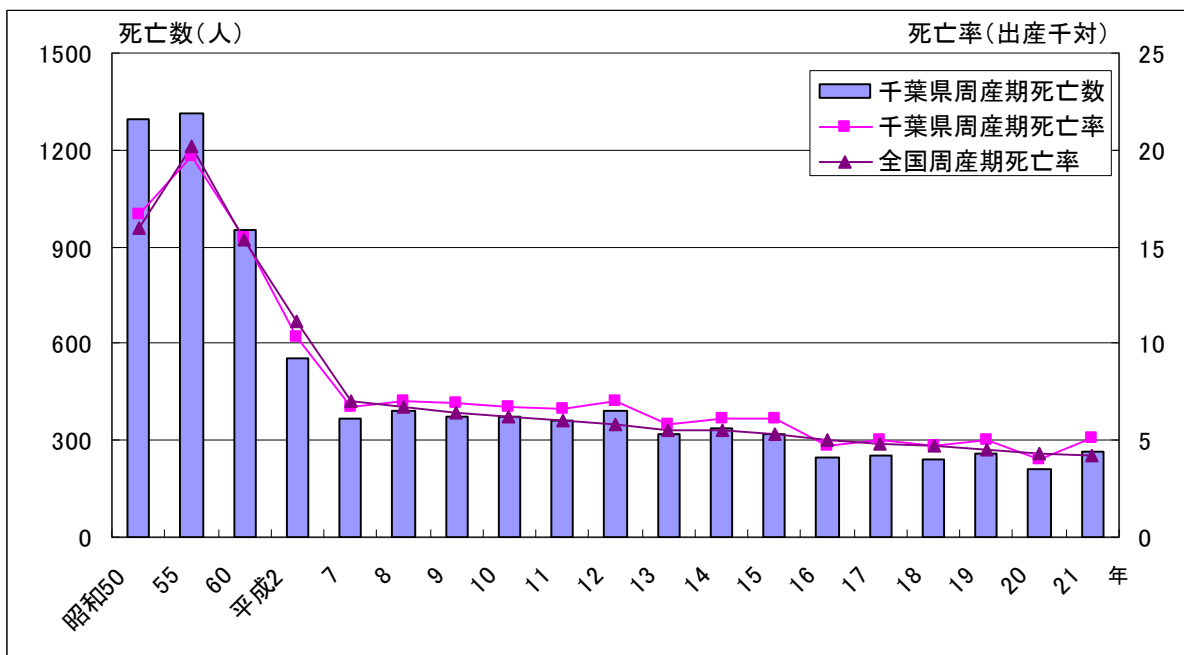


資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

⑤ 周産期死亡率

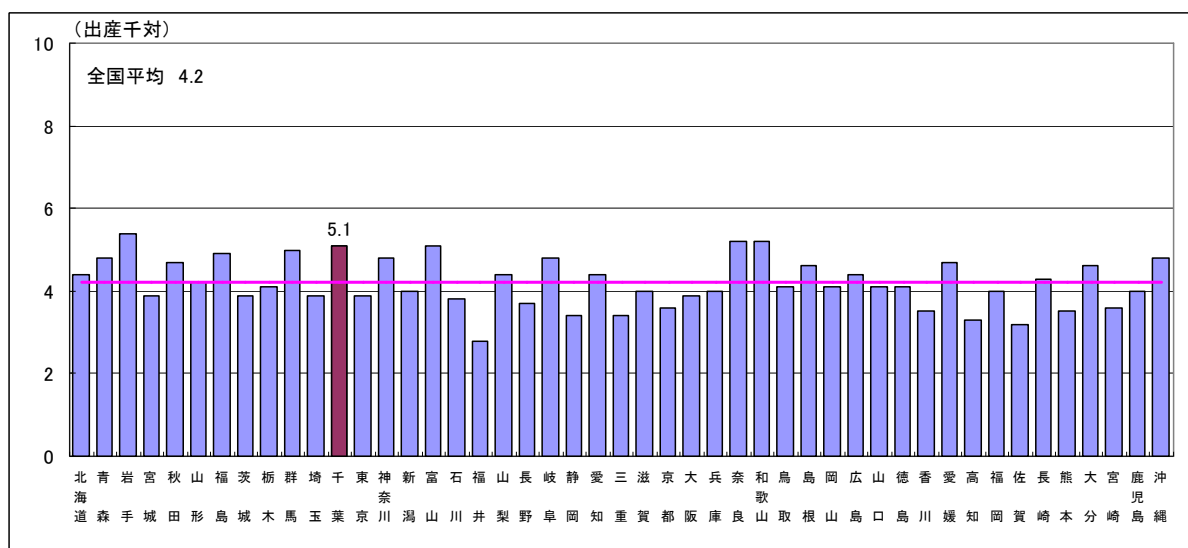
本県の周産期死亡率\*（出産千対）は、減少傾向にあるものの全国平均をやや上回って推移する傾向にあります。平成21年の周産期\*死亡数は265人で平成20年（210人）より55人増加し、周産期死亡率は5.1で全国平均の4.2に対し0.9ポイント高く、全国第4位となっています。

【 図表 1-2-1-2-13 周産期死亡数と周産期死亡率の推移 】



資料：人口動態調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-1-2-14 都道府県別周産期死亡率 】



資料：平成21年人口動態調査（厚生労働省）

## 第2節 医療資源

### 1 医療提供施設等

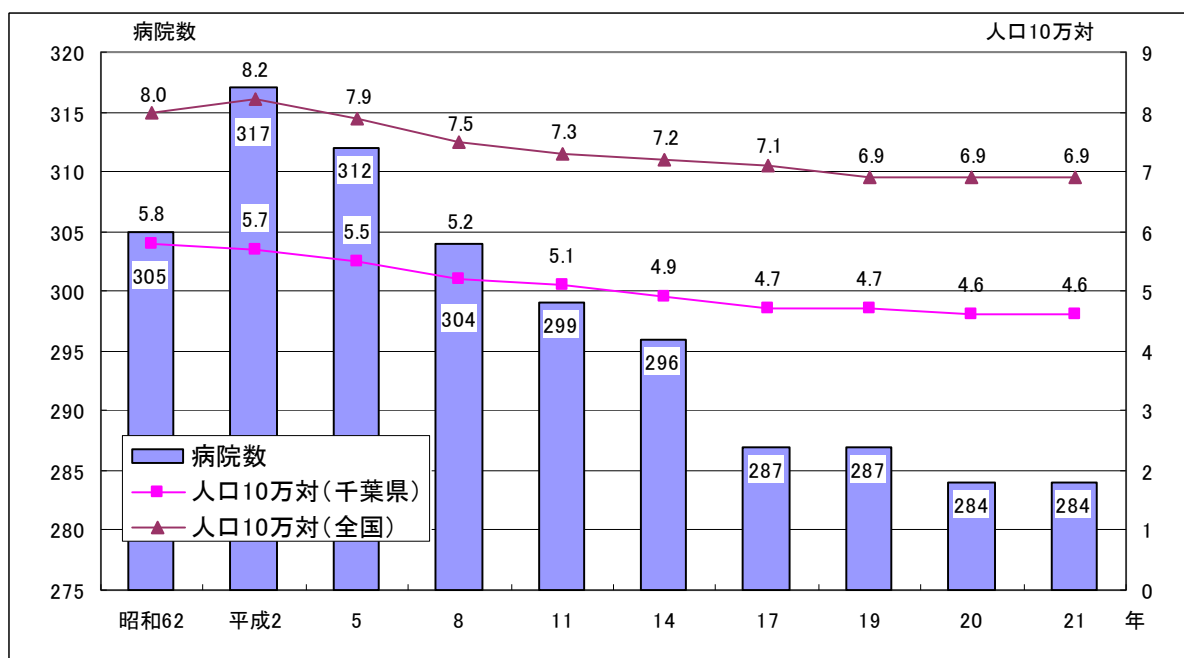
#### (1) 病院

平成21年10月1日現在の病院数は284施設で、人口10万対4.6と全国平均6.9を2.3ポイント下回り、全国第44位となっています。病院数の推移をみると、平成2年以降、減少しています。

人口10万対の病床数は、平成21年10月1日現在、療養病床及び一般病床が709.0、精神病床が212.1で、ともに全国平均を下回っています。

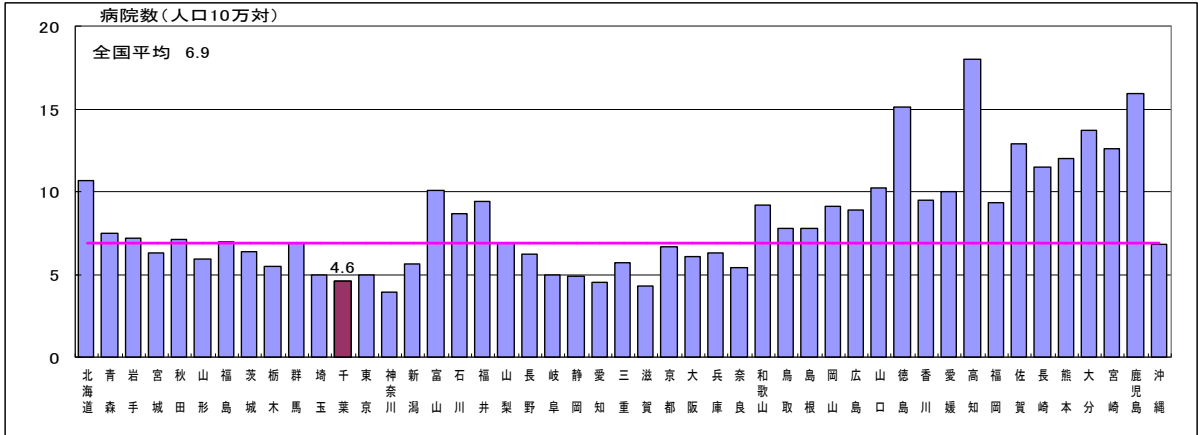
開設主体別の病院数は、国立及び公的病院\*が43施設（施設総数の15.1%）、民間病院が241施設（施設総数の84.9%）となっています。

【 図表 1-2-2-1-1 病院数と人口10万対病院数の推移（千葉県） 】



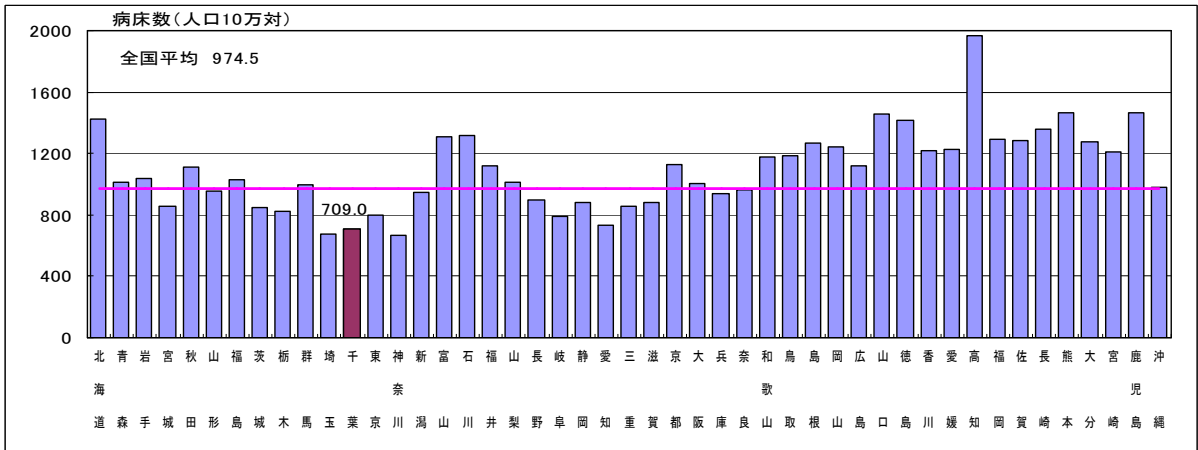
資料：医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-2 都道府県別人口 10 万対病院数 】



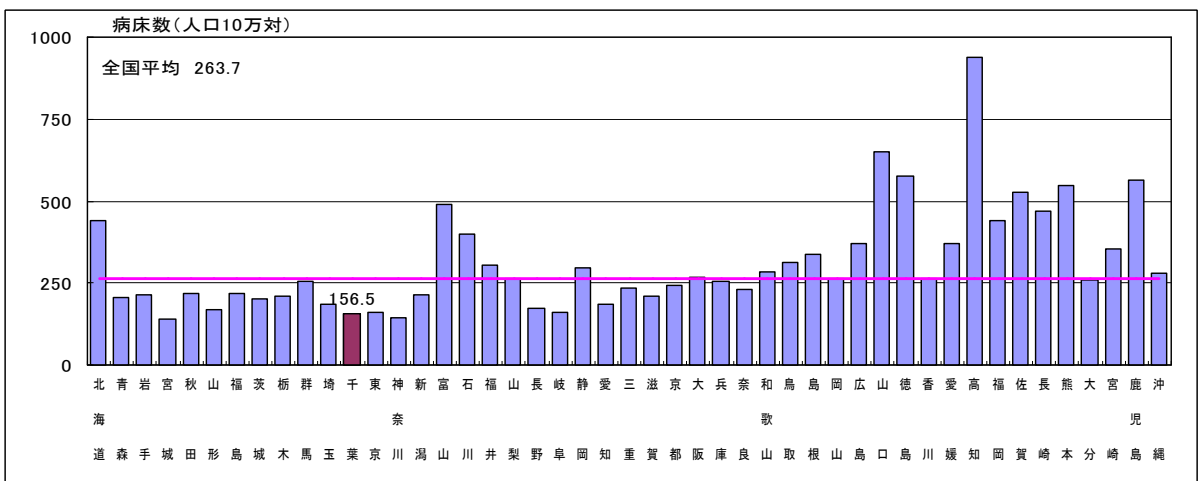
資料：平成 21 年医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-3 都道府県別人口 10 万対病院病床数（療養病床及び一般病床） 】



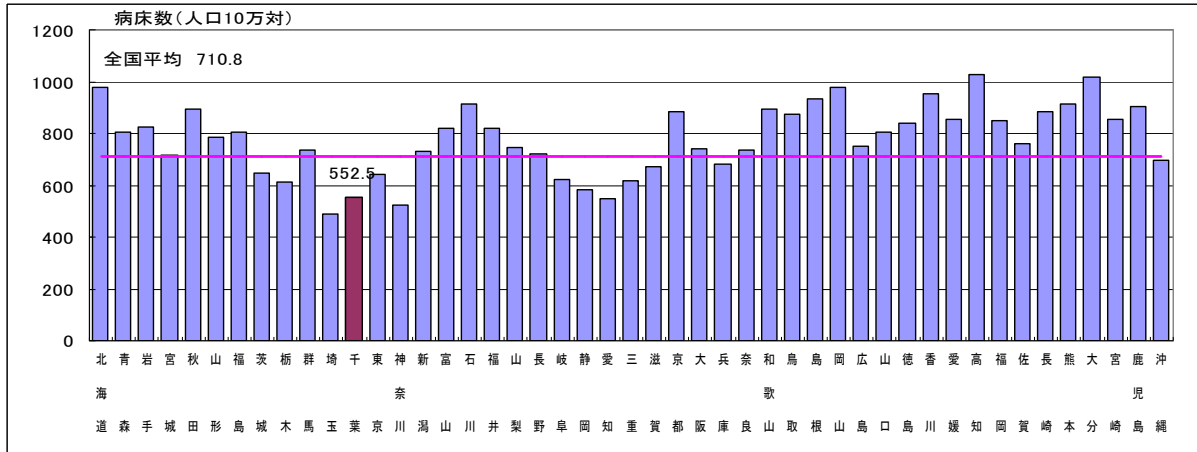
資料：平成 21 年医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-4 都道府県別人口 10 万対病院病床数（療養病床） 】



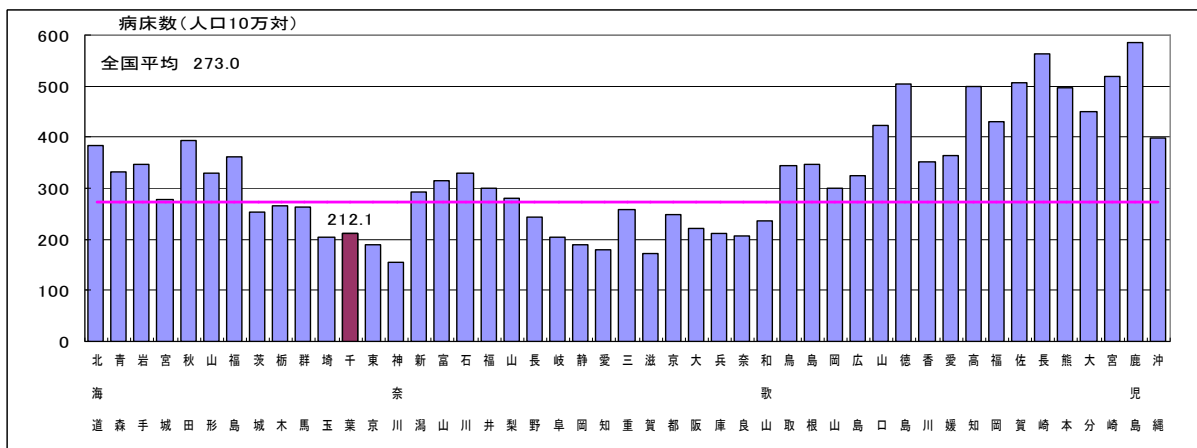
資料：平成 21 年医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-5 都道府県別人口 10 万対病院病床数（一般病床） 】



資料：平成 21 年医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-6 都道府県別人口 10 万対病院病床数（精神病床） 】



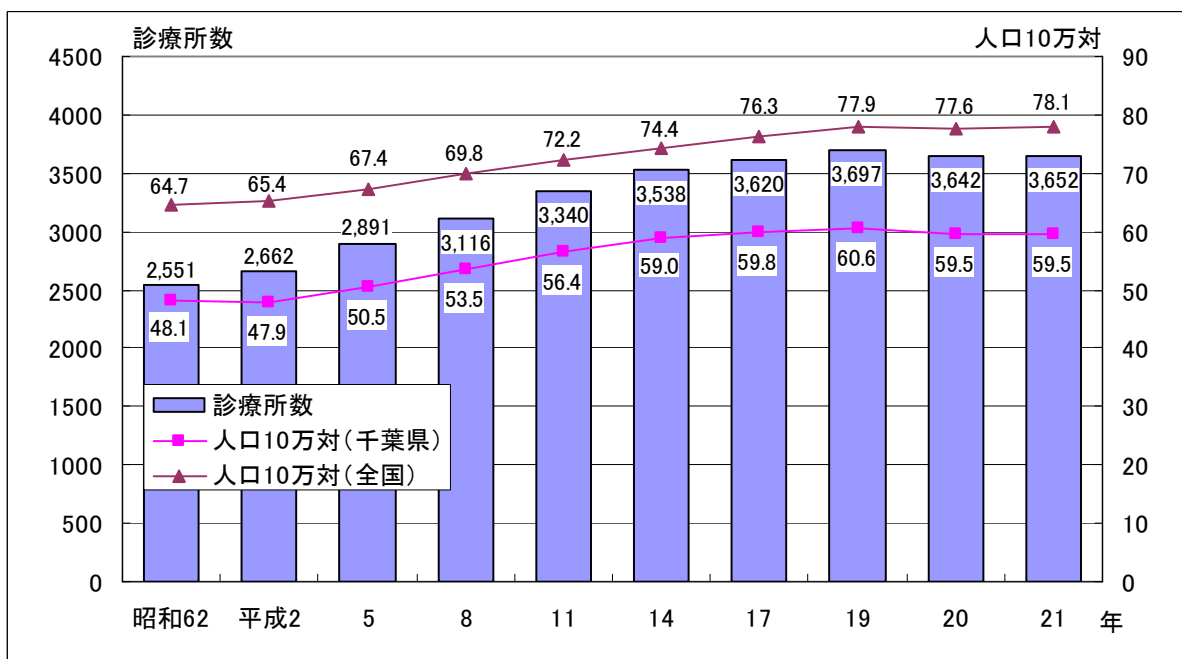
資料：平成 21 年医療施設調査（厚生労働省）

(2) 一般診療所

平成21年10月1日現在の一般診療所は3,652施設で、人口10万対59.5と全国平均78.1を大きく下回り、全国第44位となっています。

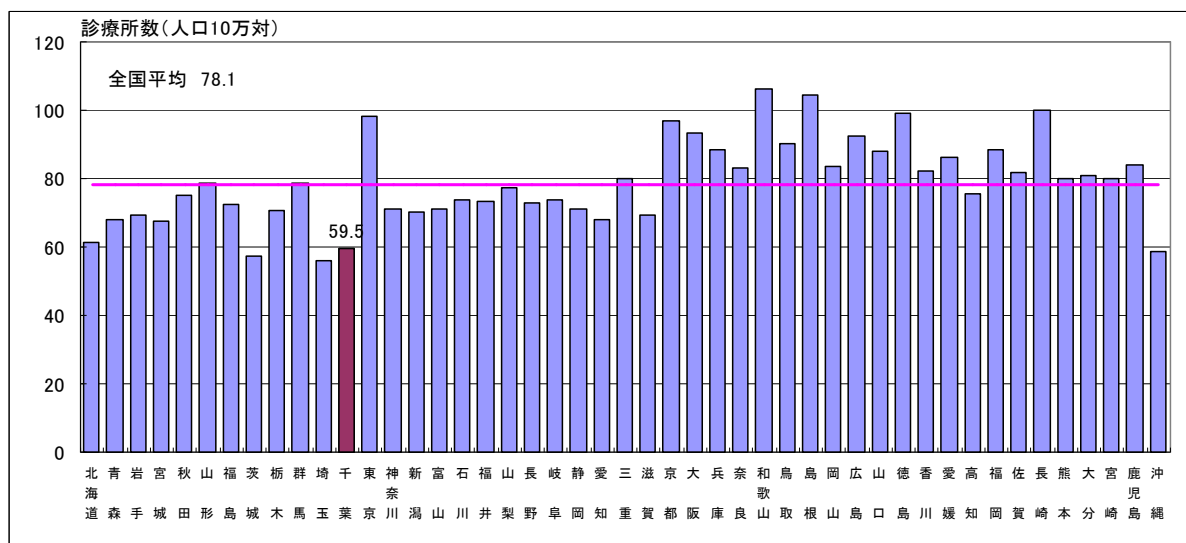
一般診療所3,652施設のうち有床診療所は283施設で、施設総数の7.7%を占めています。また人口10万対病床数は54.2と全国平均111.2を大きく下回り、全国第40位となっています。

【 図表 1-2-2-1-7 一般診療所数と人口10万対一般診療所数の推移（千葉県） 】



資料：医療施設調査（厚生労働省）

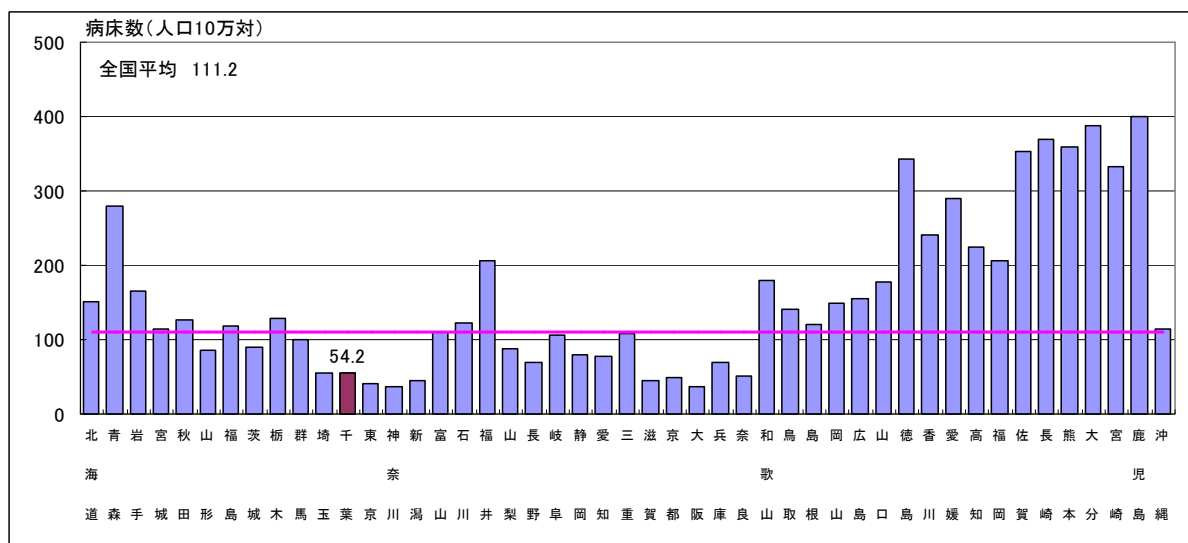
【 図表 1-2-2-1-8 都道府県別人口10万対一般診療所数 】



資料：平成21年医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-9

都道府県別人口 10 万対一般診療所病床数（一般病床及び療養病床）】

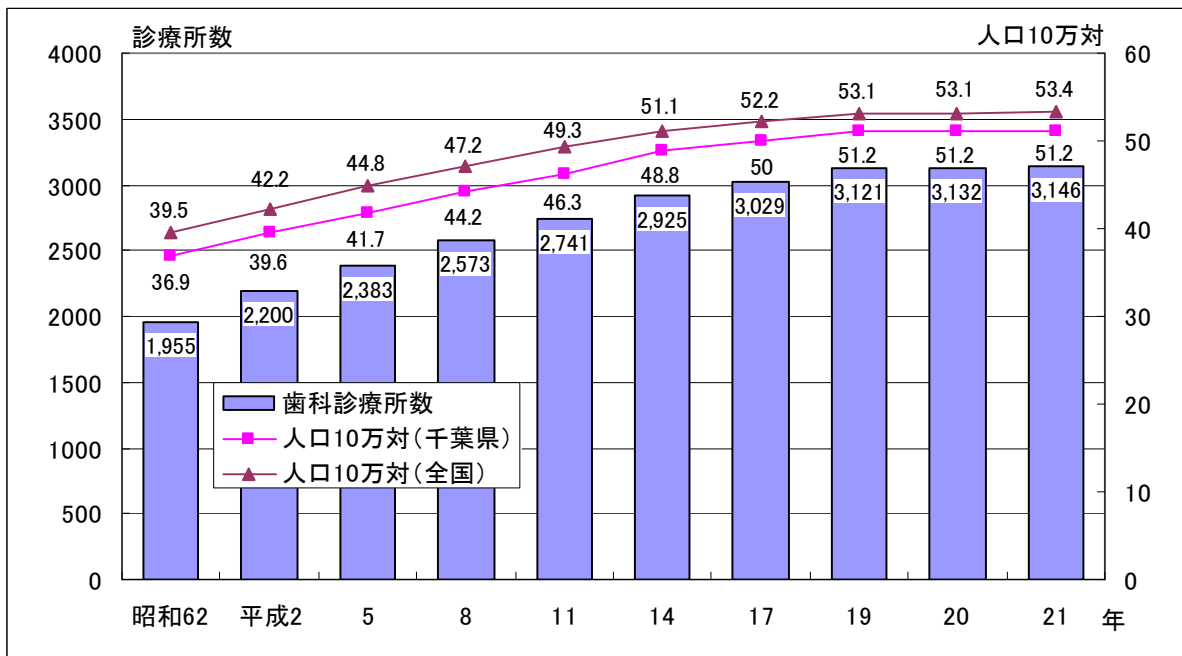


資料：平成 2 1 年医療施設調査（厚生労働省）

(3) 歯科診療所

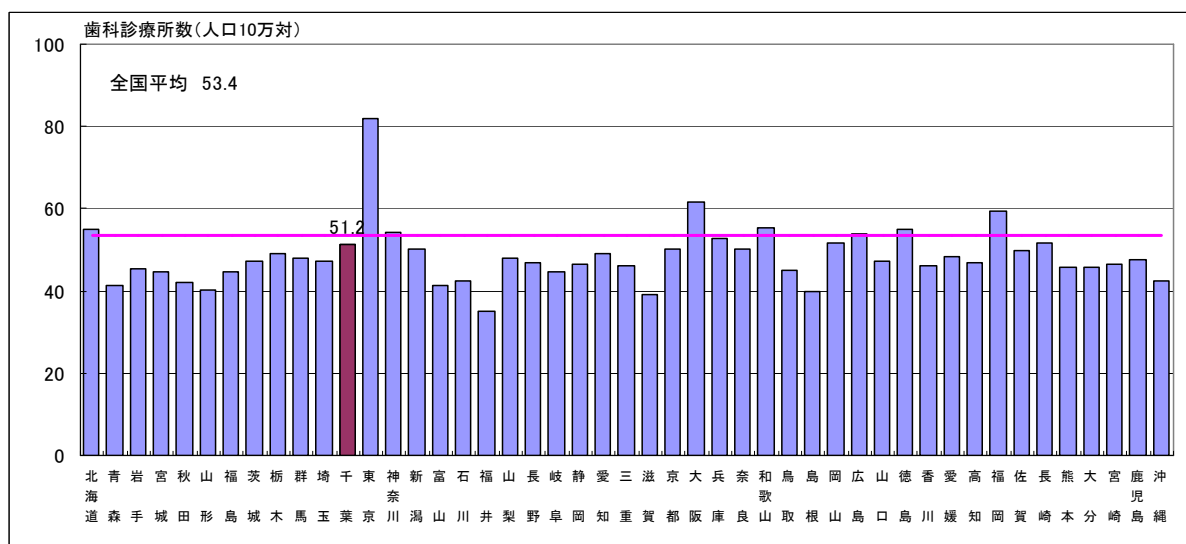
平成21年10月1日現在の歯科診療所は3,146施設で、人口10万対51.2と全国平均53.4を2.2ポイント下回り、全国第12位となっています。

【 図表 1-2-2-1-10 歯科診療所数と人口10万対歯科診療所数の推移（千葉県） 】



資料：医療施設調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-11 都道府県別人口10万対歯科診療所数 】

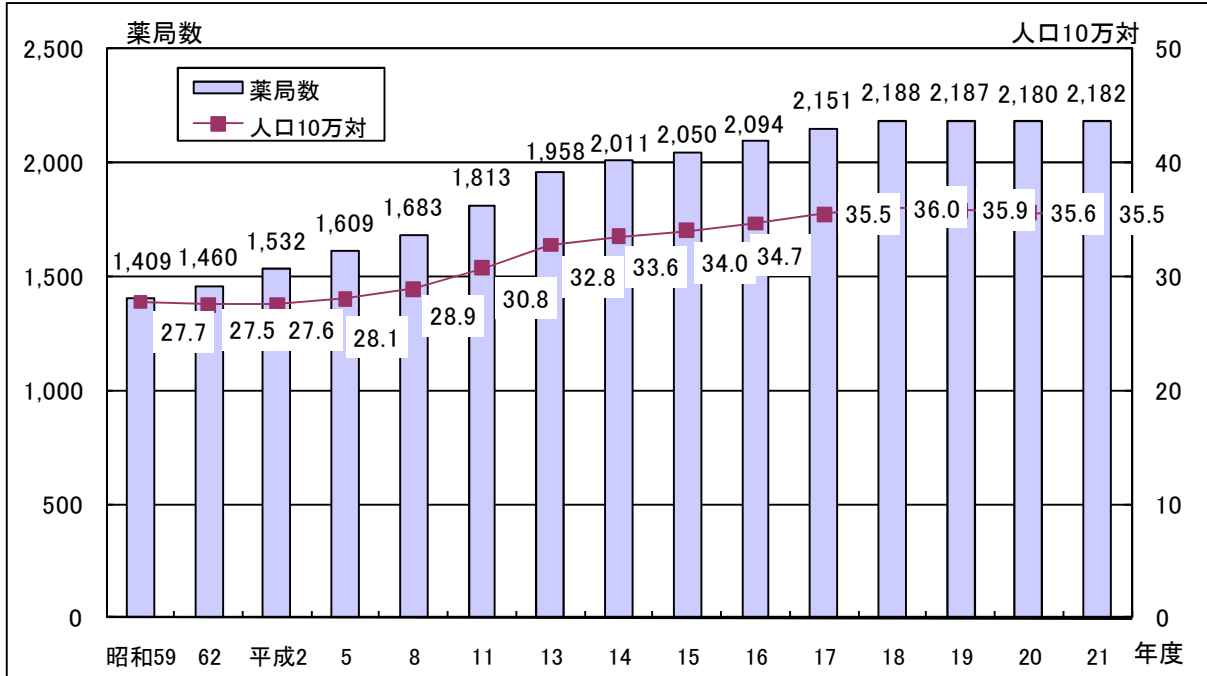


資料：平成21年医療施設調査（厚生労働省）

(4) 薬局

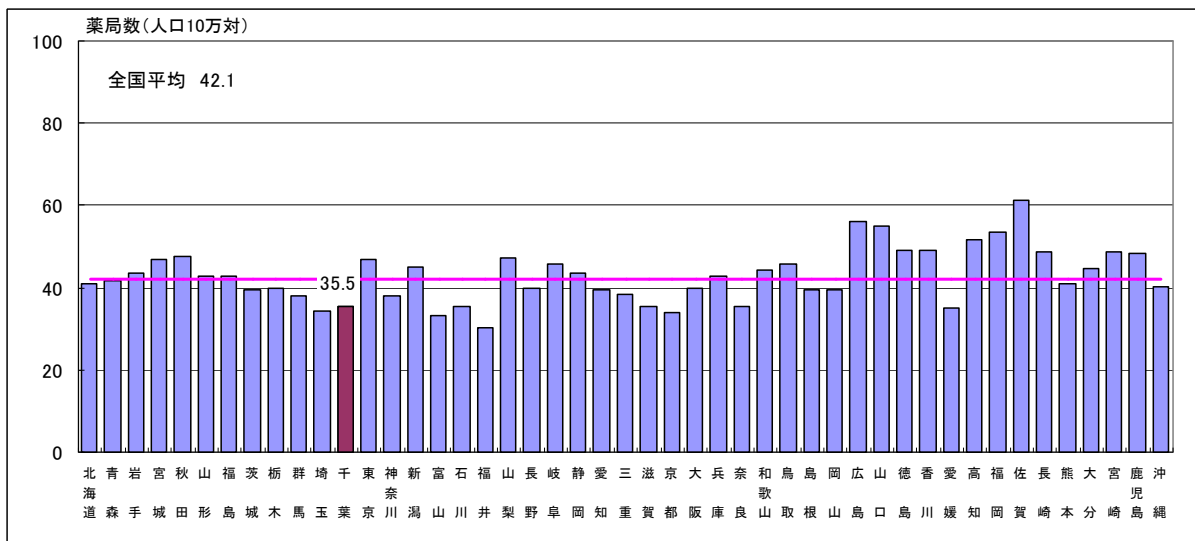
平成22年3月31日現在の薬局数は2,182施設で、人口10万対35.5と全国平均42.1を6.6ポイント下回り、全国第39位となっています。

【 図表 1-2-2-1-12 薬局数と人口10万薬局数の推移（千葉県） 】



資料：薬務課調べ

【 図表 1-2-2-1-13 都道府県別人口10万対薬局数 】



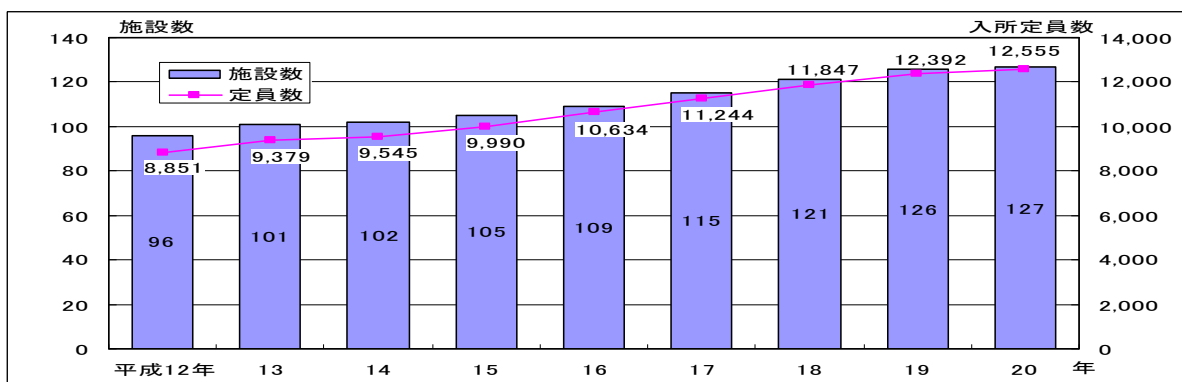
資料：日本統計年鑑（総務省）

(5) 介護老人保健施設

平成20年10月1日現在の介護老人保健施設\*は127施設で、65歳以上人口10万対10.3と、全国平均12.4を2.1ポイント下回り、全国第42位となっています。

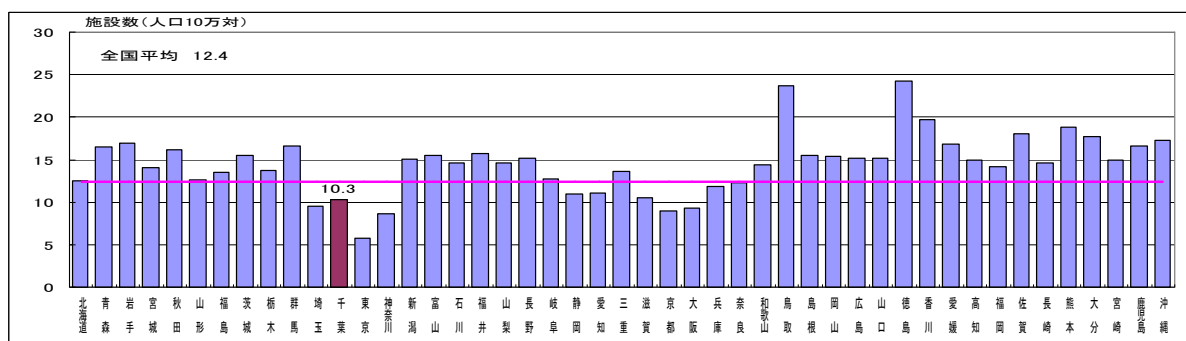
また、入所定員数は12,555で、65歳以上人口10万対1,018.2と全国平均の1,130.7を112.5ポイント下回り、全国第40位となっています。

【 図表 1-2-2-1-14 介護老人保健施設数と入所定員の推移（千葉県） 】



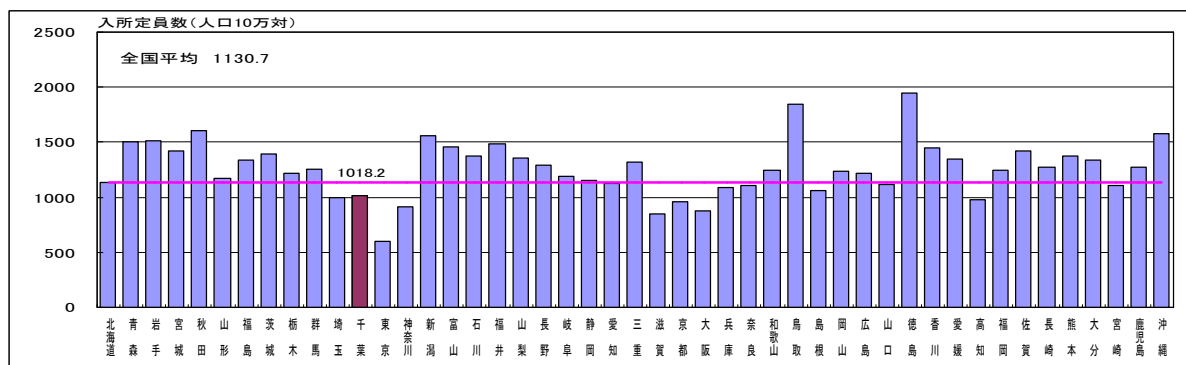
資料：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-15 都道府県別 65歳以上人口10万対施設数（介護老人保健施設） 】



資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-16 都道府県別 65歳以上人口10万対入所定員（介護老人保健施設） 】



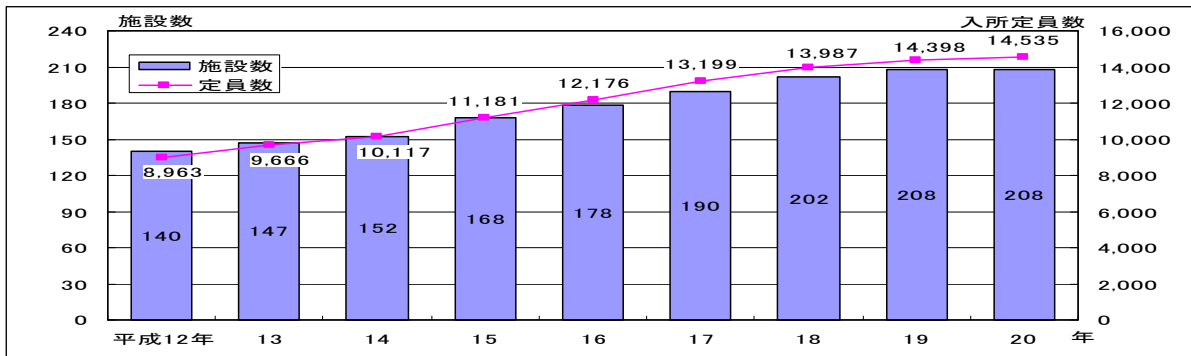
資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

(6) 指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

平成20年10月1日現在の指定介護老人福祉施設\*は208施設で、65歳以上人口10万対16.9と、全国平均21.3を4.4ポイント下回り、全国44位となっています。

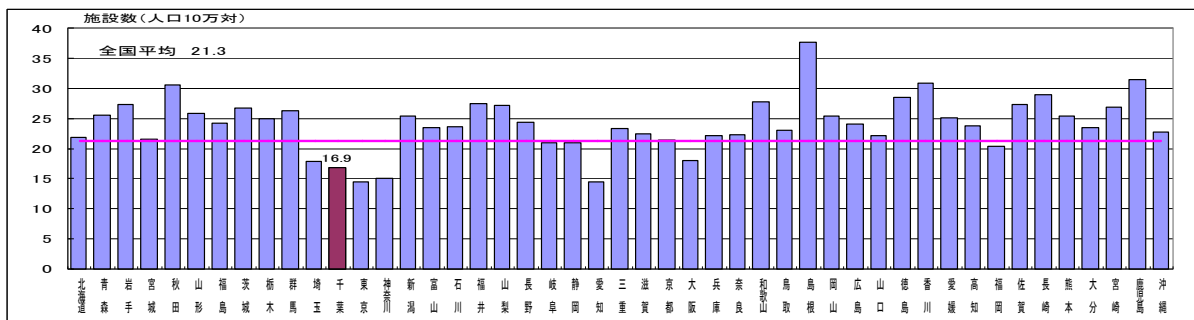
また、入所定員数は14,535で、65歳以上人口10万対1,178.8と全国平均の1,498.1を大きく下回り、全国第47位となっています。

【 図表 1-2-2-1-17 指定介護老人福祉施設数と入所定員の推移（千葉県） 】



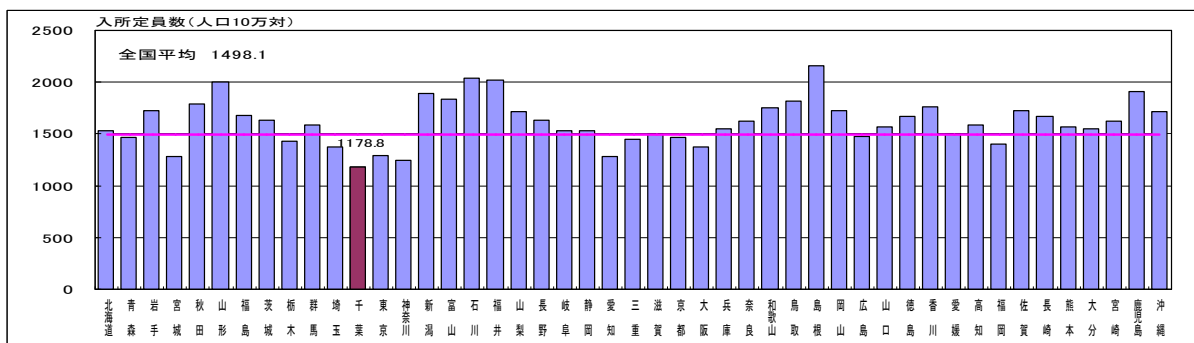
資料：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-18 都道府県別 65歳以上人口10万対施設数（指定介護老人福祉施設） 】



資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-19 都道府県別 65歳以上人口10万対入所定員（指定介護老人福祉施設） 】



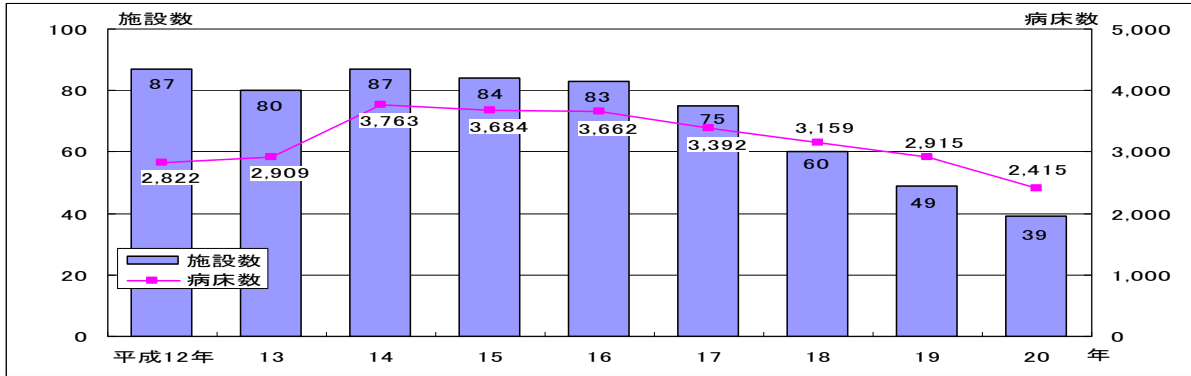
資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

(7) 介護療養型医療施設

平成20年10月1日現在の介護療養型医療施設\*は39施設で、65歳以上人口10万対3.2と、全国平均8.0を大きく下回り、全国44位となっています。

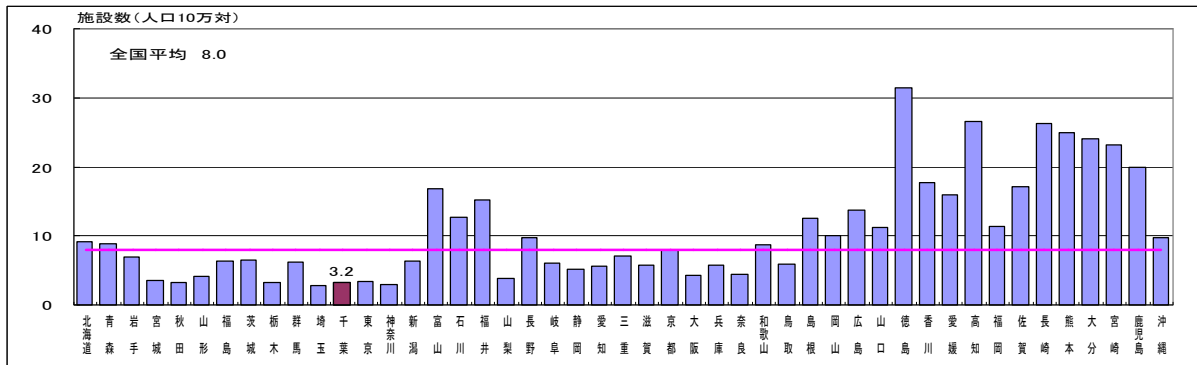
また、病床数は2,415で、65歳以上人口10万対195.9と全国平均の352.0を大きく下回り、全国第39位となっています。

【 図表 1-2-2-1-20 介護療養型医療施設数と病床数の推移（千葉県） 】



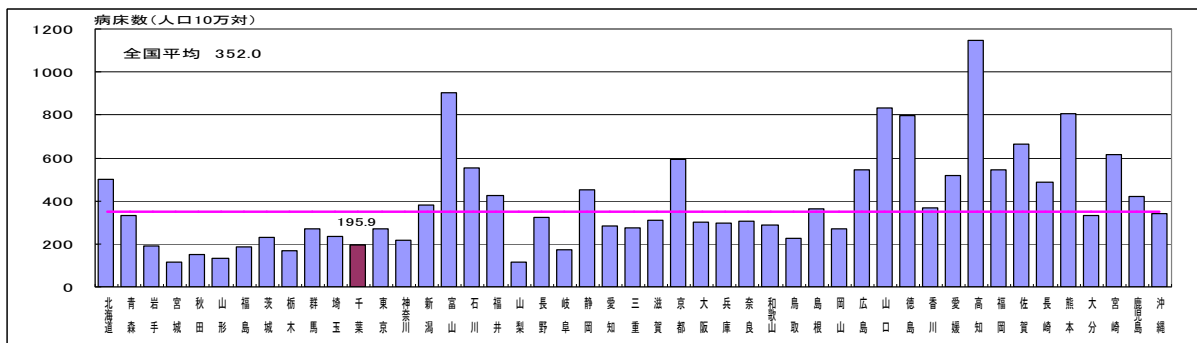
資料：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-21 都道府県別 65歳以上人口10万対施設数 】



資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-22 都道府県別 65歳以上人口10万対病床数 】



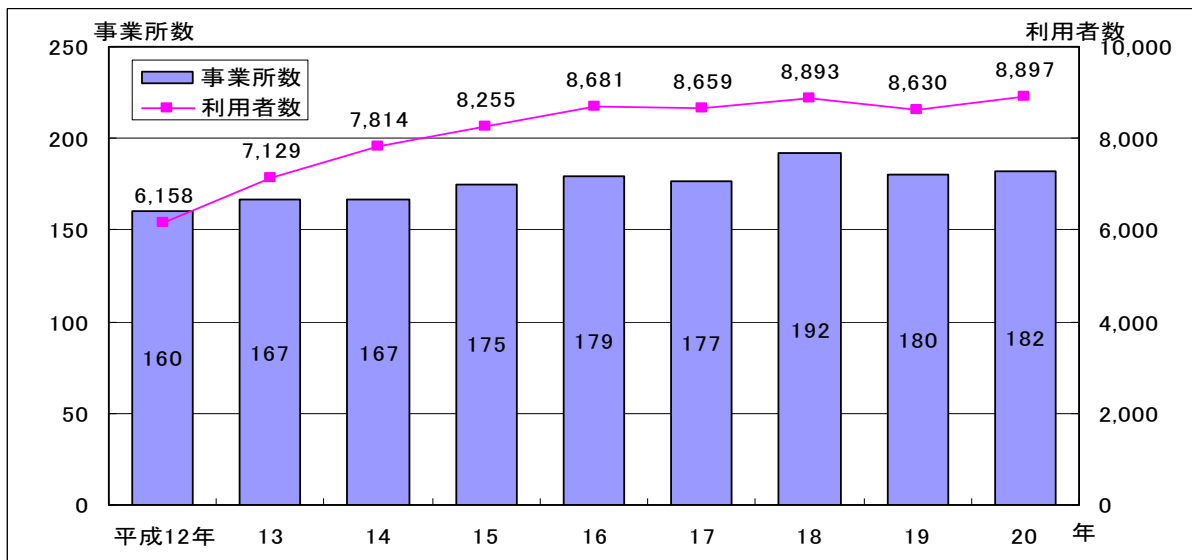
資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

(8) 訪問看護ステーション\*

平成20年10月1日現在の事業所は182施設で、利用者数は8,897人です。

また、65歳以上人口10万対施設数は14.8と、全国平均19.3を4.5ポイント下回り、全国第42位となっており、65歳以上人口10万対の常勤換算従事者数は64.1で、全国平均99.6を大きく下回っています。

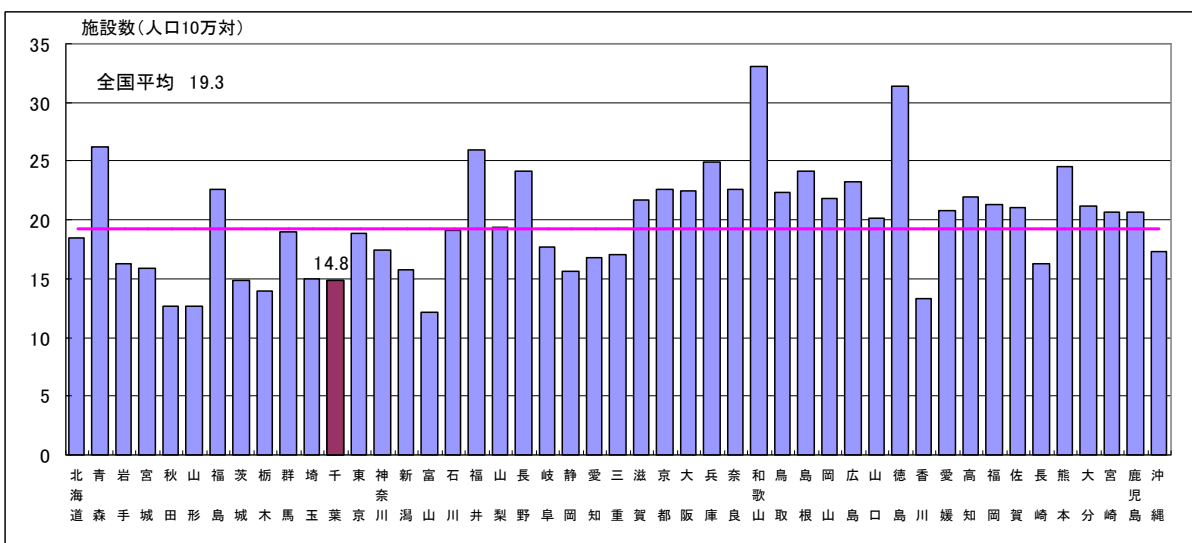
【 図表 1-2-2-1-23 訪問看護ステーション事業所数と利用者数の推移（千葉県） 】



資料：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-1-24

都道府県別 65歳以上人口10万対施設数（訪問看護ステーション） 】



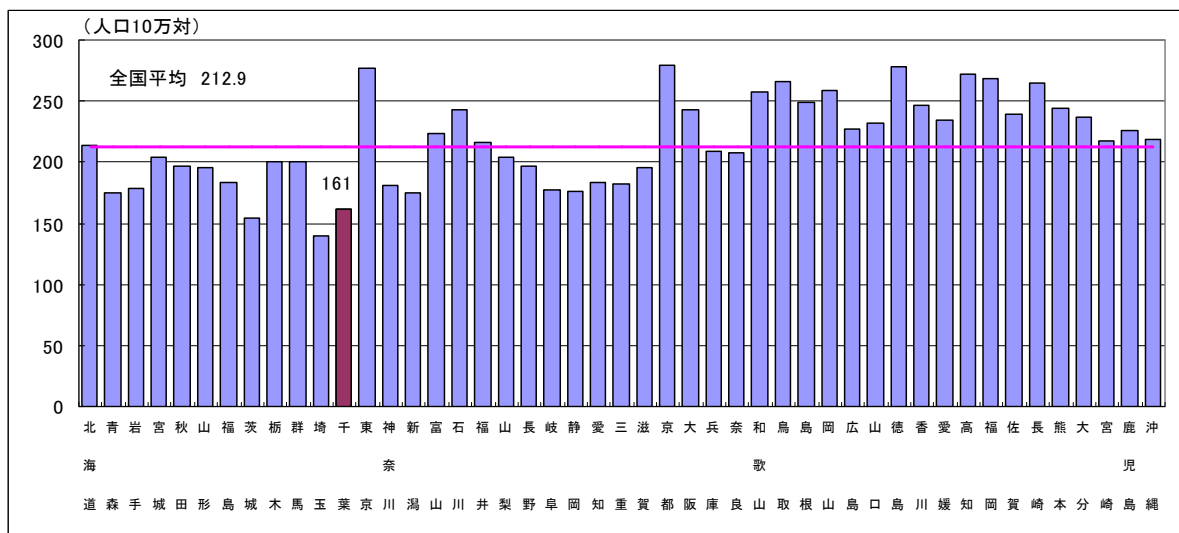
資料：平成20年介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

## 2 医療従事者等

### (1) 医師

本県の医療施設従事医師数は平成20年末現在9,855人で、人口10万対医療施設従事医師数は161.0人と全国平均212.9を大きく下回っており、全国順位も第45位と低い水準になっています。今後、高齢化が急速に進展することにより、医師がますます不足することが予想されます。

【 図表 1-2-2-2-1 都道府県別人口10万対医療施設従事医師数 】

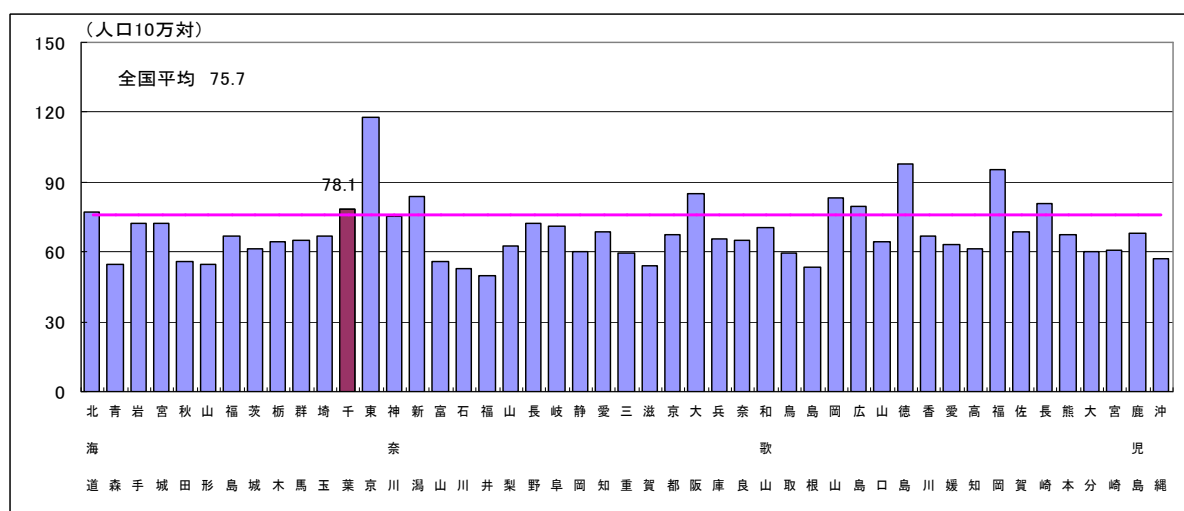


資料：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

### (2) 歯科医師

本県の医療施設従事歯科医師数は平成20年末現在4,784人で、人口10万対医療施設従事歯科医師数は78.1人と全国平均75.7と同水準であり、全国第9位となっています。

【 図表 1-2-2-2-2 都道府県別人口10万対医療施設従事歯科医師数 】

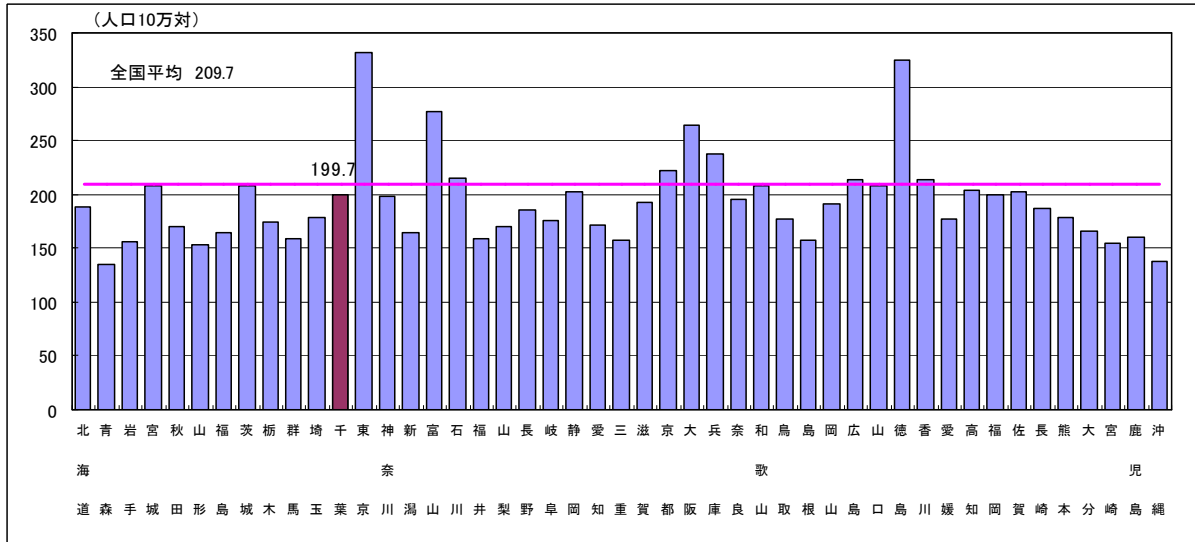


資料：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

(3) 薬剤師

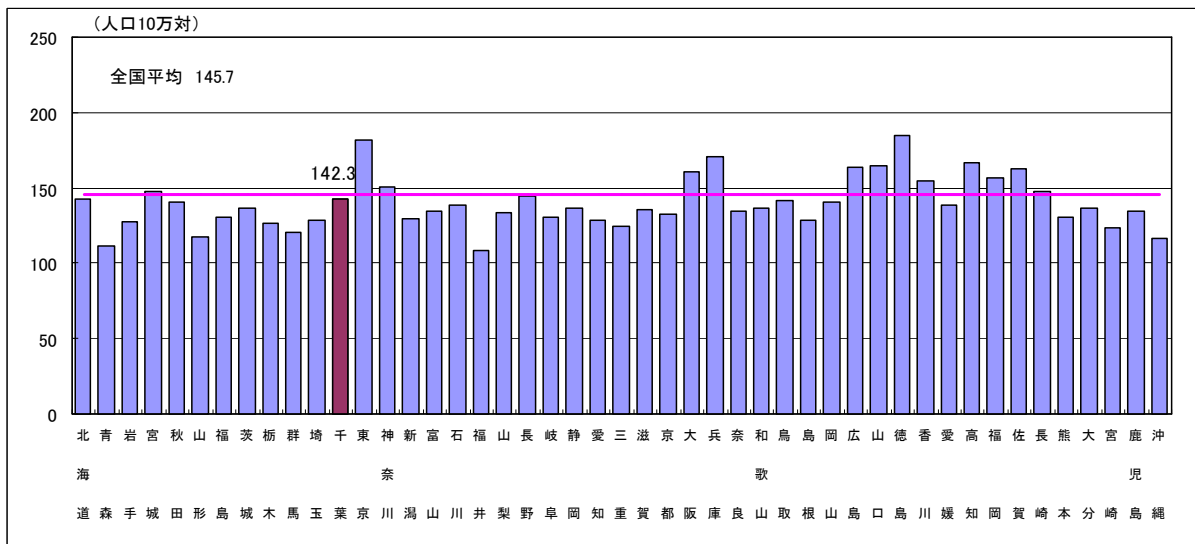
本県の薬剤師数は平成20年末現在12,227人で、人口10万対薬剤師数は199.7人と全国平均209.7をやや下回り、全国第18位となっています。また、そのうち薬局・医療施設の従事者は142.3人で、全国第16位となっています。

【 図表 1-2-2-2-3 都道府県別人口 10 万対薬剤師数 】



資料：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-2-4 都道府県別人口 10 万対薬局・医療施設従事薬剤師数 】



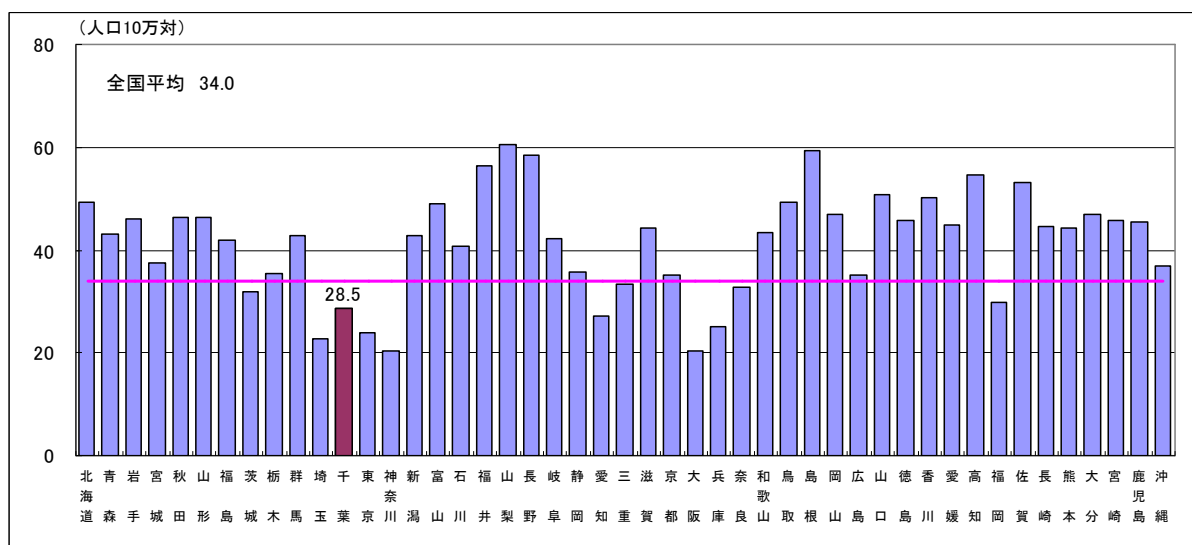
資料：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

#### (4) 看護職員

本県の就業看護職員数は平成20年末現在43,848人で、従事する業務の内訳は、保健師1,743人、助産師992人、看護師29,373人、准看護師11,740人となっています。

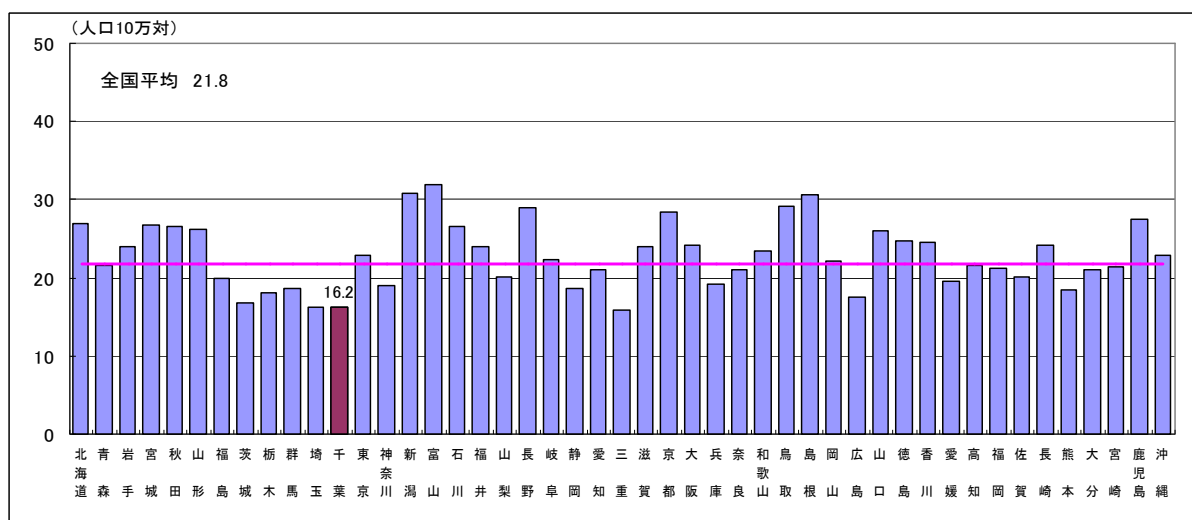
人口10万対では、保健師28.5人で全国第41位（全国平均34.0人）、助産師16.2人で全国第45位（全国平均21.8人）、看護師479.8人で全国第46位（全国平均687.0人）、准看護師191.8人で全国第44位（全国平均293.7人）となっており、総数では716.2人で全国第45位（全国平均1,036.4人）と低い状況にあります。今後、高齢化が急速に進展することにより、看護職員がますます不足することが予想されます。

【 図表 1-2-2-2-5 都道府県別人口 10 万対就業保健師数 】



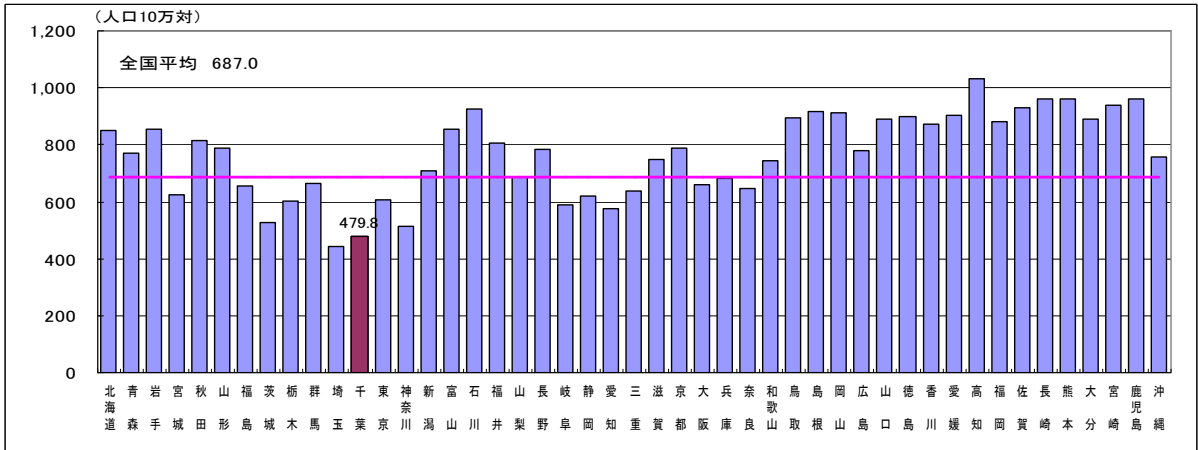
資料：平成20年衛生行政報告例（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-2-6 都道府県別人口 10 万対就業助産師数 】



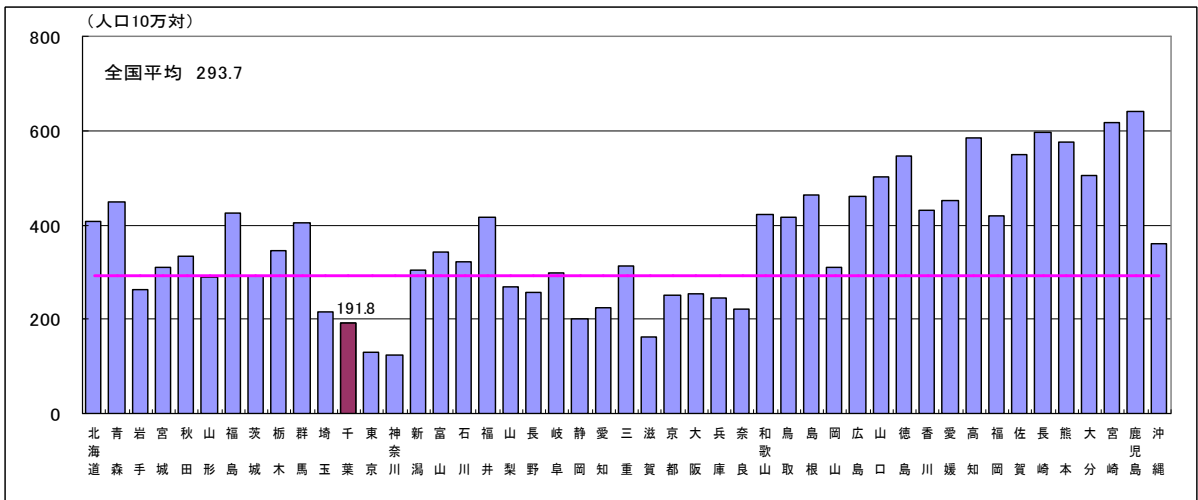
資料：平成20年衛生行政報告例（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-2-7 都道府県別人口 10 万対就業看護師数 】



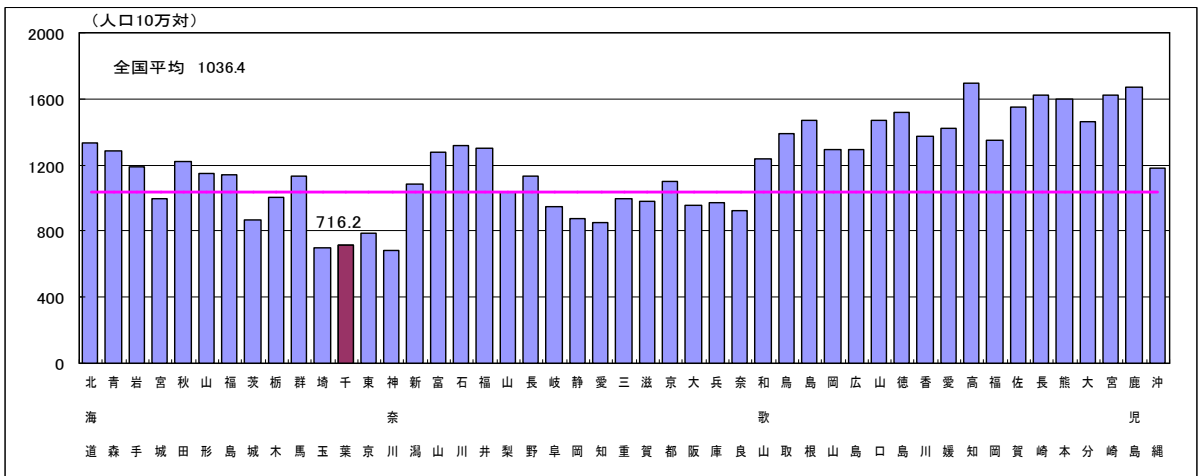
資料：平成 20 年衛生行政報告例（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-2-8 都道府県別人口 10 万対就業准看護師数 】



資料：平成 20 年衛生行政報告例（厚生労働省）

【 図表 1-2-2-2-9 都道府県別人口 10 万対就業看護職員数 】



資料：平成 20 年衛生行政報告例（厚生労働省）をもとに千葉県が作成

### 第3節 受療動向等

#### 1 受療率

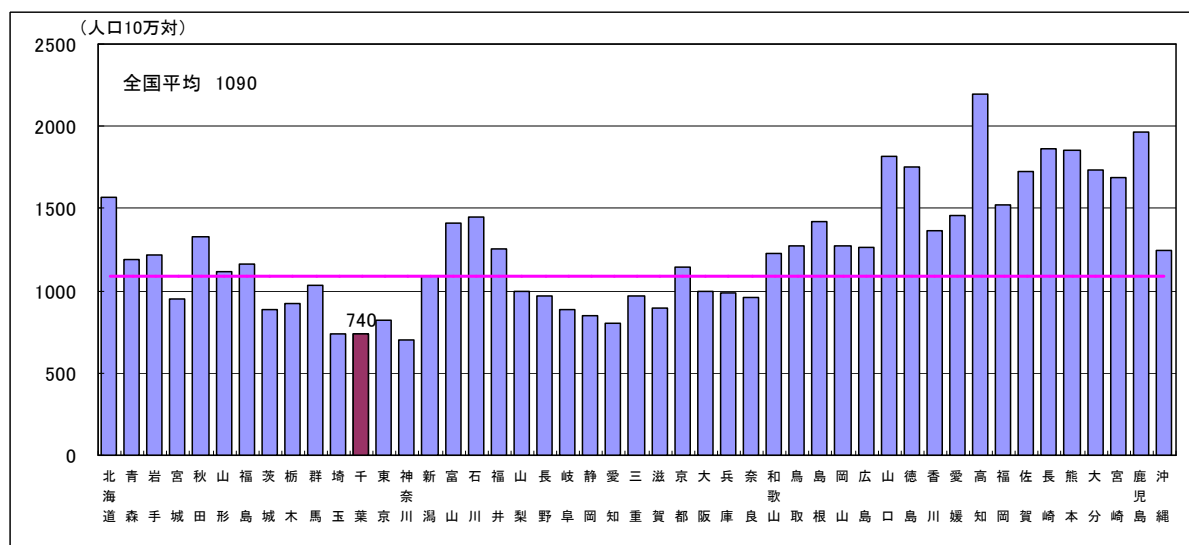
##### (1) 入院

平成20年患者調査によると、千葉県の入院の受療率は人口10万対740人となっており、全国平均1,090人を350人下回り、全国第46位となっています。これは平成17年国勢調査による本県の平均年齢は年齢の若い順で全国6位となっているように人口の構成が若いことが挙げられますが、今後急速な高齢化の進展により受療率の上昇が予想されるため、適切な対策を図る必要があります。

傷病別にみると、主な傷病である精神及び行動の傷害、循環器系の疾患、新生物以下、すべての傷病で全国平均を下回っています。

性・年齢階級別にみると、男女とも5～14歳の階級以降、年齢を増すごとに受療率の増加がみられ、また、ほぼすべての年齢階級で全国平均を下回っています。

【 図表 1-2-3-1-1 都道府県別人口10万対受療率（入院） 】



資料：平成20年患者調査（厚生労働省）

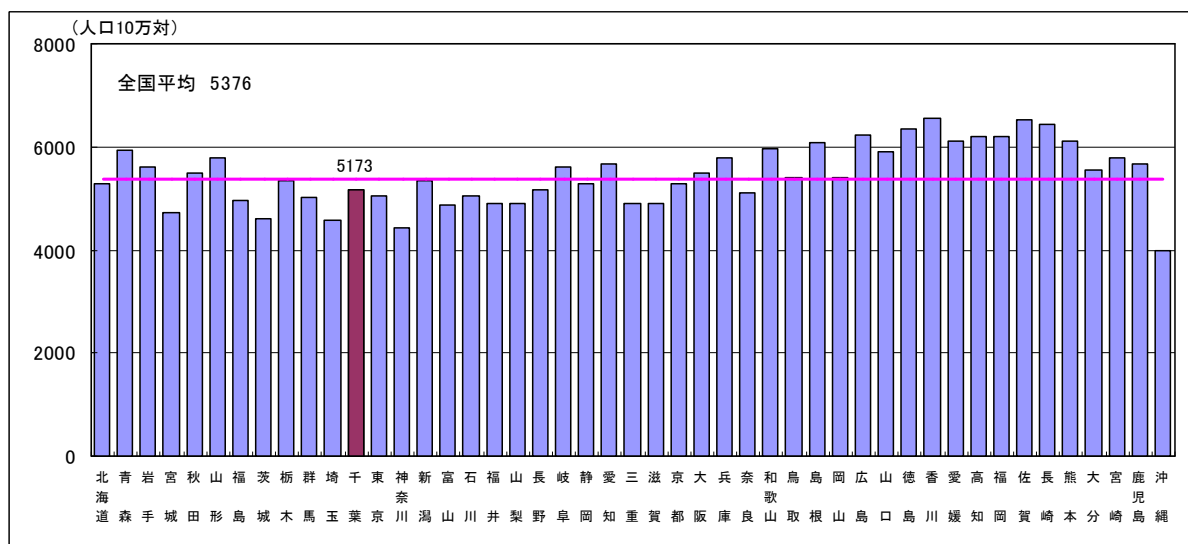
(2) 外来

千葉県の外来の受療率は人口10万対5,173人となっており、全国平均5,376人を203人下回り、全国第31位となっています。入院と同様に人口の構成が若いことが挙げられますが、今後急速な高齢化の進展により受療率の上昇が予想されるため、適切な対策を図る必要があります。

傷病別にみると、主な傷病のうち消化器系の疾患は全国平均を上回っており、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患は全国平均を下回っています。

性・年齢階級別にみると、男女とも15～24歳の階級以降、年齢を増すごとに受療率の増加がみられ、また、男性では0～24歳及び35～74歳、女性では0～14歳及び45～64歳の階級で全国平均を上回っています。

【 図表 1-2-3-1-2 都道府県別人口10万対受療率（外来） 】



資料：平成20年患者調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-3-1-3 傷病分類別にみた人口 10 万対受療率 】

傷病名	入院		外来	
	千葉県	全国	千葉県	全国
総数	740	1,090	5,173	5,376
I 感染症及び寄生虫症	12	19	139	152
II 新生物	96	125	153	171
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	5	12	18
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	20	29	237	282
V 精神及び行動の障害	164	236	158	182
VI 神経系の疾患	46	83	87	104
VII 眼及び付属器の疾患	6	8	127	211
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	2	75	96
IX 循環器系の疾患	148	219	599	701
X 呼吸器系の疾患	45	66	478	508
XI 消化器系の疾患	41	54	1,126	979
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	7	10	198	198
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	30	54	650	740
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	25	37	230	226
XV 妊娠, 分娩及び産じょく	9	15	3	13
XVI 周産期に発生した病態	4	5	1	2
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常	4	5	8	10
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10	15	62	68
XIV 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	62	98	212	250
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5	8	618	465

傷病名	入院		外来	
	男	女	男	女
総数	720	764	4,042	5,016
I 感染症及び寄生虫症	19	11	118	133
II 新生物	112	82	107	136
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	3	6	21
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	22	21	199	310
V 精神及び行動の障害	164	169	108	160
VI 神経系の疾患	30	38	62	68
VII 眼及び付属器の疾患	8	9	96	191
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	52	60
IX 循環器系の疾患	131	169	507	640
X 呼吸器系の疾患	42	38	515	497
X I 消化器系の疾患	57	36	1081	1181
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	5	5	146	208
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	20	40	306	553
X IV 尿路性器系の疾患	32	27	208	166
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	—	32	—	6
X VI 周産期に発生した病態	4	6	1	1
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	3	3	3	5
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9	12	38	49
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	57	56	164	137
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1	5	324	494

資料：平成20年患者調査（厚生労働省）

【 図表 1-2-3-1-4 性・年齢階級別にみた人口 10 万対受療率 】

			合計	0～ 4歳	5～ 14歳	15～ 24歳	25～ 34歳	35～ 44歳	45～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上	65歳 以上 (再掲)	70歳 以上 (再掲)
入院	千葉県	合計	740	348	87	113	190	247	435	814	1,398	3,605	2,305	2,873
		男	721	393	107	109	148	249	491	961	1,612	3,446	2,274	2,799
		女	759	301	67	117	234	244	375	674	1,190	3,698	2,331	2,922
	全国	合計	1,090	370	97	159	292	349	596	1,073	1,860	4,935	3,301	3,992
		男	1,028	396	107	151	219	369	697	1,308	2,166	4,630	3,186	3,806
		女	1,150	342	87	167	368	330	494	847	1,589	5,120	3,387	4,121
外来	千葉県	合計	5,173	6,301	3,367	1,933	2,490	3,309	4,234	6,219	9,802	11,151	10,364	11,270
		男	4,563	6,526	3,559	1,653	1,829	2,832	3,521	5,603	9,382	10,282	9,722	10,741
		女	5,782	6,066	3,165	2,238	3,192	3,811	4,962	6,834	10,211	11,686	10,896	11,649
	全国	合計	5,376	6,024	3,170	2,027	2,832	3,195	3,991	6,009	9,898	12,045	10,904	11,843
		男	4,688	6,174	3,286	1,614	1,984	2,540	3,435	5,428	9,303	12,156	10,484	11,635
		女	6,031	5,866	3,048	2,462	3,711	3,863	4,549	6,572	10,428	11,981	11,218	11,987

資料：平成 20 年患者調査（厚生労働省）

## 第4節 保健医療圏の状況

### 1 人口

千葉県は、戦後の急激な経済発展及び首都圏への人口集中に伴い、著しい人口増加を経験してきました。近年、人口増加のスピードは鈍化していますが、平成17年と平成22年の人口を比較すると、県全体では、人口の伸び率が、全国平均を2.4ポイント上回っています。しかし、東葛南部、東葛北部、千葉、印旛保健医療圏については県平均を上回る伸び率となっている一方、香取海匝、安房、山武長生夷隅、市原保健医療圏では人口が減少しており、県内でも格差が見られます。

【 図表 1-2-4-1-1 二次保健医療圏別人口 】

	平成17年	伸び率	平成22年
千葉県	924,319	4.1%	962,130
東葛南部	1,634,059	4.7%	1,710,928
東葛北部	1,288,628	4.2%	1,342,205
印旛	684,129	3.0%	704,469
香取海匝	314,902	-4.9%	299,627
山武長生夷隅	466,146	-2.4%	455,157
安房	141,543	-3.8%	136,113
君津	322,481	1.4%	326,889
市原	280,255	-0.2%	279,601
県計	6,056,462	2.7%	6,217,119
全国	127,767,994	0.2%	128,056,026

資料：国勢調査

平成22年の人口は速報集計による

## 2 医療資源

(1) 人口10万人対の病院数、病床数（療養病床及び一般病床）

千葉県の人10万人対の病院数は全国平均の約66%、病床数は約71%と大きく下回っています。

【 図表 1-2-4-2-1 人口 10 万対病院数 】

	平成 20 年	全国平均に 対する割合
千 葉	4.9	0.710
東 葛 南 部	3.9	0.560
東 葛 北 部	4.2	0.612
印 旛	3.7	0.531
香 取 海 匝	6.7	0.966
山 武 長 生 夷 隅	5.1	0.736
安 房	11.2	1.627
君 津	5.5	0.792
市 原	4.2	0.610
県 計	4.6	0.664
全 国	6.9	1.000

資料：平成20年医療施設調査から算出

【 図表 1-2-4-2-2 人口 10 万対病床数（療養病床及び一般病床） 】

	平成 20 年	全国平均に 対する割合
千 葉	787.7	0.805
東 葛 南 部	631.1	0.645
東 葛 北 部	615.5	0.629
印 旛	704.5	0.720
香 取 海 匝	863.7	0.883
山 武 長 生 夷 隅	654.6	0.669
安 房	1452.3	1.485
君 津	675.5	0.691
市 原	644.4	0.659
県 計	695.3	0.711
全 国	978.0	1.000

資料：平成20年医療施設調査から算出

## (2) 救急医療体制

千葉県の救急告示病院\*の人口10万人対の病院数は、全国平均の約70%となっています。特に、東葛南部保健医療圏では、全国平均を大きく下回り、安房保健医療圏では大きく上回っています。

また千葉県のICU\*（集中治療管理室）、NICU\*（新生児集中治療管理室）の人口10万人当たりの病床数は、ICU\*：3.7（全国平均の約77%）NICU\*：1.9（全国平均の約104%）となっています。ICU\*については、印旛保健医療圏及び山武長生夷隅保健医療圏が全国平均を大きく下回っており、NICU\*は山武長生夷隅保健医療圏には整備されていません。

【 図表 1-2-4-2-3 人口10万対救急告示病院数 】

保健医療圏	平成20年	全国平均に対する割合
千葉県	2.1	0.692
東葛南部	1.6	0.522
東葛北部	2.0	0.661
印旛	2.3	0.732
香取海匝	2.9	0.928
山武長生夷隅	2.8	0.893
安房	4.9	1.595
君津	2.4	0.789
市原	2.5	0.797
県計	2.2	0.702
全国	3.1	1.000

資料：平成20年医療施設調査から算出

【 図表 1-2-4-2-4 ICU、NICUの状況 】

保健医療圏	対10万人病床数		全国平均に対する割合	
	ICU	NICU	ICU	NICU
千葉県	4.7	2.2	0.984	1.237
東葛南部	3.0	2.0	0.636	1.085
東葛北部	3.7	0.9	0.775	0.500
印旛	2.1	0.8	0.443	0.467
香取海匝	3.8	2.9	0.799	1.580
山武長生夷隅	0.4	—	0.089	—
安房	5.6	18.9	1.177	10.472
君津	8.5	2.7	1.783	1.510
市原	6.3	0.0	1.325	0.000
県計	3.7	1.9	0.768	1.043
全国	4.8	1.8	1.000	1.000

資料：平成20年医療施設調査から算出